京城日報

九日夕刊

定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 [illegible]
京城太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社
印刷人 小川三之介

第卅九回特別帝國議會

貴族院(八日)

(九日朝刊より續く)貴族院は八日午後一時再開午前に引き續き政府提出案の殘り十四案に關し順次第一讀會を開き主務大臣の提案理由說明あり其々特別委員に附託一、二の質問あり午後三時散會せり(東京特電)

▲會期不延長か 八日寺內首相は議員代表者と會見し會期延長に關し協議する所ありたり多分會期を延長せざる事に決せらるべし(東京電報)

動亂の支那

▲皇太后泣き叫ぶ

皇太后は八日以來泣き叫び幼帝をして宮城外に拉し去らしむる勿れと祈りて已まず(北京特電)

▲皇太后は六日朝來供御を廢して泣き叫び終日跪き只管宣統幼帝の身上平安を祈れり(北京電報)

▲宮城に爆彈を投下す

六日朝飛行機一臺宮城の上空を飛翔し紫禁城に爆彈を投下し宮廷爲めに恐慌を來せり(北京電報)

▲復辟と蒙軍の畫策

海拉爾に在る蒙古軍は黑龍江省の空虛を衝かんとする時復辟の報に接し復辟贊成の吉林省と提携し張作霖氏を動かさんとせしに吉林の態度再び曖昧となれるより熱河に長驅し張勳氏を援けんとするも三十日間の日子を要するを以て目下淸朝の下命を待つて行動する事となり蒙軍の幹部は八日夜長春奉天間の聯絡をとらん爲め長春に來れり(長春特電)

▲英公使張勳を保護

定武軍武裝を解除す

七日夜半重要會議の結果某所に潛伏せる張勳氏は英國公使の保護を受くる事となり定武軍は段軍監視の下に武裝を解除せり(北京特電)

▲張勳猶復辟に意あり

張勳氏は議政大臣を退職せるも尙復辟は斷念し得ざるものゝ如し(北京電報)

▲新總統復辟取消要求

肯容れずんば北伐せん

馮國璋氏は先づ各省督軍、省長、全國の海陸軍將士と聯合し張勳氏に打電し二十四時間內に復辟を取り消さん事を求めたるが若し肯容れざれば北伐する計畫にて各省に夫れ〳〵打電せり(上海特電)

▲南京市民祝意を表す

七日午前十時馮國璋氏は大總統就任の式を行ひたるが市民は民國旗を掲揚して祝賀の意を表せり(南京特電)

▲林公使不干涉主義

一切の相談を拒絕す

復辟問題の善後策に關し張勳側にては林公使に對し種々相談するが如き態度に出づるも林公使は帝國政府の對支方針たる支那內政不干涉主義を固守し一切の相談を拒絕しつゝあるものゝ如し(北京特電)

▲京奉鐵道復舊す

京奉線は復舊したり(北京特電)

◎山縣公微恙

山縣公は微恙にて引籠り靜養中なり(東京特電)

◎文相陳謝す

岡田文相は八日衆議院に於て前科者代議士松浦五兵衛氏選擧應援の不謹愼なりし事を陳謝せり(東京電報)

◎秋山大將動靜

秋山軍司令官は九日元山著儀仗兵堵列し官民多數の出迎へありたり(元山特電)

◎水利組合令御裁可

實際に適合せん事を期す

朝鮮總督府が韓國政府時代の制定に係る僅々十二條の水利組合法は簡單不備にして時世に適合せざる者として改めて完全なる新條例の制定を爲すべき由は屢次道せし處なるが同條例四十五條は已に畏遇の御裁可を經目下同施行期日並に施行規則に關し目下東京に在る長谷川總督の決裁を求めつゝあり其電訓を待ちて近く發布の筈なるが施行規則は全文八十條より成り第一水利組合の設置廢止第二組合の機關第三組合の財務第四組合の聯合の四章に分ち現在水利組合規約に依りて不備なる法制以上に行施し來れる實際に適合せんことを期したり尙同條例は曩きに公布せる面制と同樣地方行政上最も重要の事項なれば近く開會せらるゝ內務部長會議に於て其の施行心得に關し詳細指示協議さるゝ筈なりと

◎仁川浚渫船增加

仁川に於ける浚渫船及び碎岩船の作業に關しては大正五年十月中已に定むる處ありしが十日總督府告示第百六十四號を以て改正の旨發表の筈にて從前プリストマン式浚渫船二隻碎岩船一隻を以て爲し來れる外浚渫船東萊丸を更に加へ同時に其碇泊及標示の信號に關しても改正さるゝ由也

◎マ氏の朝鮮施政評

滯京中の米國雜誌社主マクルーアー氏は九日午前九時總督府に山縣政務總監を訪問して敬意を表し半島に於ける總督政治の施設に關し賞讚せる後自分は日本が一部分歐米に於て誤解されたる點に就き自ら判斷して其眞相を世界に紹介する積りなりと述べ又た七日には藤田通譯官の案內にて昌德宮を參觀したるが李王家に對し帝國政府が年々百五十萬圓の支出を爲し居れりとの事を聞き深く其の寬洪の處置に感じ居りたり尙氏は八日は王妃の陵墓纛島模範場を九日は上田視學官の案內にて京城の諸學校を視察したるが十日には仁川の港及市街を十一日には水原模範場を巡覽し十二日出發支那に向ふ豫定なり

◎暑中休暇と執務

總督府始め各官廳吏員に對し來る十一日より公務の繁閑を量り暑中休暇を賜はる旨九日を以て發表され同時に執務時間は午前八時參廳正午退廳の事と爲る由

◎遞信判任官昇給

遞信局所屬判任官百五十餘名に對し六月三十日附各定期昇給を行なひたり

◎辭令

六日付左の通り辭令あり

平壤高等普通學校長 渡邊春藏
二級俸下賜

◎產金減少

其の原因は如何

本年上半期に於ける朝鮮產金の鮮銀買入高は約四百萬圓に過ぎず之れを前年同期に比すれば

▲百五十萬圓 內外の減少を來し從つて其の輸移出も亦不振たるが其の原因に付聞く所によれば減少の因由は必らずしも朝鮮の石金及び砂金脈の貧弱を來したるために非ず實に外部の自然的障礙より茲に至りしものゝ如し乃ち(一)本年の上半に於ける嚴寒は酷烈を極め河水は永らく凍結したるため砂金採掘者の水車精煉によるものは遂に其操業中止を久しきに亙り續けざるを得ざりき又砂金の採取も洗滌する用水なく同じく採掘中止を例年より延ばしたり(二)鮮內一班に降雨の不足は著しく從つて水車製煉及び

▲砂金の採取 は凍結の永引きしと同樣の理由にて非常の打擊を蒙れり(三)產金の本場たる西朝鮮地方は昨冬來黑鉛熱旺盛の結果採金の傍ら黑鉛を掘出するもの多く自然其の影響產金に及び來る傾むきあり其他淺野氏の經營する平南順安砂金鑛の如きは砂金採取の新式機械を据付ける計畫あるため手掘りの方は本年餘り進めざる傾向あり少なくも鑛區中砂金含有の最も多き部分は其採取を手控へ居れる事實等もあり產金減の由來は大要右の如し乍併寒氣の永引き降雨の不足が石金採掘に與へし惡影響は其の精煉の障礙にあり鑛石の採取には殆んど支障なきを以て各鑛山共

▲鑛石の堆積 著しき模樣あり而して近時降雨大に臻りたる爲め盛んに精煉を續けつゝあり又南鮮、山平南順安等の採鑛設備完成も近かるべしと云へば下半に於ける朝鮮產金は上半に於ける減少を恢復し得る程に至らずとも前年に均しき產金額を擧げ得る事は至難ならざるべしと云ふ

◎前田大佐出張

警務總監部高等警察課長前田憲兵大佐は藤沼警視其他を隨へ咸鏡南北兩道管內巡閱の爲め十日發出張すべし來る廿八日歸任の筈

◎英總領事香港行

英國總領事アーサー、ハイド、レー氏は廈門支那稅關長在職中の令兄重病の報に接し來る十八日頃出發香港病院に療養中なる令兄見舞の爲め同地に向ふ由にて九日山縣政務總監久水外事課長を總督府に訪問したり

◎高商生東拓訪問

入京中の小樽高等商業學校生徒は九日午前十一時東洋拓殖會社を訪問樓上にて茶菓の饗應を受け川上理事より一場の講演を聞きたり

◎鮮人警部任命

三十日附を以て左記の諸氏警部に任せられ頭書の警察署に配置せられたり

任警部(三千浦)	朴根壽
同(平壤)	金正鐸
同(晉州)	吳㷡世
同(明川)	吳演鎭
同(平昌)	申九鉉
同(谷城)	安達楨
同(河東)	鄭大年
同(全州)	李源濟

◎京畿幹部會

京畿道にては九日午前九時松永長官室にて幹部恒例會を開催せり

◎製粉合同成立

總督府に認可の申請中なる朝鮮製粉會社並に滿洲製粉會社龍山工場及び杉浦氏の南浦製粉工場の合同問題は屢報の如く諸種の迂餘曲折を經たる結果此程圓滿に協定成立したる趣にて右のため東上したる杉浦與作氏も最近歸京したるが聞く所によれば合同の會社は資本金百萬圓とし多分本社を西鮮に擬ぶべく社長には製粉界の某元老を推す事となれる模樣なり尙ほ新會社の成立に到る徑路は多分朝鮮製粉並に滿洲製粉龍山工場二社の申請書類の返付を當局に求め新に合同新會社の認可指令を申請するの處置に出づべしと

◎鑛業會問題

朝鮮有力鑛業家を發起人とする朝鮮鑛業の發展を企圖すべき趣意の下に計畫せられし鑛業會は鎭南浦西崎小瀧京城津田氏等主として其の組織に盡力し四五月の交之れを實現し得べしとの事なりしも其後は杳として消息なきが聞く所によれば初め發起人が會員として取纏めんとの豫定をなしゐたるは一流若くば二三流所の鑛業家にて四流ハ流は之れを加へざる方針なりしが均しく鑛業會を組織せば苟くも鑛業經營に關係を有する者は全部網羅の必要なりとの意見有力方面より現はれ目下切りに其の方面の勸誘斡旋に盡力中にて多分八月迄には其の成立を告げしむべしとの事なり劣々寄附金其他のため行惱みを生じ居るには非ずとの事なり

【仁川】

▲評議員會 仁川商業會議所評議員補缺選擧當選者は八日を以て愈々當選確定せるが之れと共に來る十二日午後一時より評議員會並に會役員選擧をなす由▲赤十字社へ寄附 今回商議評議員に當選せし今村覺次郎氏は赤十字社へ二百圓寄附したるを以て仁川府廳にては特別社員の推薦の上申をなしたり▲女高師生徒見學 東京女子高等師範學校職員生徒約二十名は十五日來仁市中見學をなす可し

【淸津】

▲水道起工式擧行 淸津上水道起工式は一日午後四時より天馬山淨水構場に於て嚴かに擧行され後府廳に於て祝賀會を催されたるが同工事は工費十四萬圓にて大正八年三月までに竣功せしむべきものなるが明年中には竣功通水を見るに至らん▲鳥取縣視察團來る 鳥取縣視察團一行は三日午後安平丸にて來淸五日朝淸津市中を視察し後安平丸にて南下せり▲大豆檢査改正 從來咸南道其他二三の地方に於て個々施行し來れる輸移出大豆檢査は今回總督府に於て品質檢査の統一を圖り朝鮮大豆の聲價を發揚せん爲め府令を以て多分本年十一月一日より施行に至るべき模樣なるを以て北道にては之が準備に著手せり▲軍用地諸工事 駐劄軍より咸北道廳に引繼ぐべき羅南軍用地は本年八月二十日頃より市街計畫に基き道路上水下水の工事に著手すべく既に測量に著手せるが軍用地民家は勿論官舍若干棟も近々中に移轉するに至るべしと▲參謀長檢閱 第十九師團參謀長は部隊檢閱の爲め又岡本大佐は北鮮部隊檢閱の爲め同獸醫部長小原獸醫正は北鮮部隊講習校馬匹檢閱の爲め何れも三日安平丸にて淸津上陸羅南に向へり

【大田】

▲金久保旅團長歸任 大田步兵第七十九聯隊第二期檢閱の爲め來田中なりし大邱步兵第四十旅團長金久保少將の一行は十日午後二時三十分發列車にて歸任せり▲第二期檢閱終了 大田步兵第七十九聯隊の第二期檢閱は去る七日より施行中なりしが九日終了十日金久保旅團長の講評ありて終了し公州分遣第二中隊は十日午前舍營地出發儒城街道を經て歸隊の途に就けり因みに檢閱の成績は一般に頗る優良なりし由

【光州】

▲水道起工式 光州水道起工式は愈々七日を以て水源地に於て擧行し道長官始め兩部長其他道當局者參列し尙各官廳代表者民間有志者等も參列し質素の裡に式を終る筈なるが起工式擧行後は直ちに工事を起す豫定なりと▲客營業者健康診斷 光州署に於ては九日十日の兩日に亙り內地人宿屋料理屋飲食店菓子屋豆腐屋等の從業者を署に召集して健康診斷を行ふべく尙鮮人の當該營業者は十一日召集健康診斷を行ふべし▲道內在鄉軍人數 光州在鄉軍人會支部管下に屬する分會は木浦光州靈光羅州潭陽順天麗水咸平谷城濟州長興海南莞島珍島康津寶城務安の十六分會にして正會員數は總計千六百名名譽會員百五十名に達し居れるが尙目下分會設立中のもの二三ありと云ふ▲[illegible]部長赴任 管內[illegible]中なる同部長は七日歸任す▲法院長歸任 [illegible]管內全北各支廳出張中なりし花田法院長は八日歸任の豫定なり▲檢事正歸任 管內南部方面各支廳檢事分局及び各署隊司法事務巡視中なる秋場檢事正は七日歸任

湖南より

五道踏破旅行記者 李光洙

◇朝鮮人の重なる特色は、と問はゞ、小生は藝術的なりと答へんとする者にて候。今日の醜惡なる朝鮮人のみを見る者は、小生が愚を笑ふやも知れずと云へども、今日の朝鮮人は決して本物の朝鮮人にては候はず、支那化し總らんとして失敗したる一種變形したる朝鮮人にて候。三國時代以前の朝鮮人は、決して斯かるヨボさんにては候はざりき。彼等には武あり、文あり、力あり、富あり。隋唐の大軍を見んごと打破りたるも彼等なれば、日本及び支那に音樂美術上大影響を與へたるも彼等にて候今は見る影もなけれども、半島各地の堅固なる城壁も、都會も、道路も、寺院も、博物館に於ける價値ある物の大部分も、彼等の手によりて成れるもの、佛教を消化したるも、唐の文明を完全に輸入し、消化したるも彼等にて候。高麗の初期以後に、李朝を通じて千年近くの朝鮮人は、父祖の遺產を破壞し腐滅こそしつれ、建設し進步せしめたることなし。慶州の都は百萬の人口を有したりしに、李朝の京城は二十萬を超ゑざるは、果して何を意味するぞ。今日朝鮮に殘れるは彼等が破壞し盡し得ざりし僅かの建物のみにて候。恰も全土の森林を喰盡されんとして尙鴨綠江岸に多少の森林を殘せるが如き者にて候小生はヨボさんが、決して朝鮮人の正體にあらざることを極言すると同時に、朝鮮人の多くの特色の中にて藝術的なることは其の尤も顯著なる者と斷言するものにて候。三國以前の記錄は、殆んど全部消失したりと云へども、漢唐隋の諸書及び日本に殘れる、凡ての記錄及び遺物を綜合するに、當時の音樂美術の發達は、實に驚くべきにして、天下の中心と自稱せる支那さへも、朝鮮の樂曲、朝鮮の美術品を重んじたる位にして、奈良朝平安朝時代の音樂美術は、大半三國人の手によりて成れりと云ふ程なれば、此のみにても、小生の言の誣ならざるを證し得べしと存候。殊に百濟人は其の點に於いては尤も秀いでたりき。

◇彼等の直系の子孫たる全羅道人の血管中には、在來とても朝鮮の藝術的血液流る、實に百濟人の美術工藝及び音樂の中心は全羅道なりき。竹細工、漆器、硝子其の他精巧なる美術工藝品は、大抵全羅道人の手によりてなれるものにして、妓生俳優等歌舞音曲に秀でたる者も、又全羅道人にて候。李朝以來美術工藝及び音樂を卑むこと甚だしく、此に從事するものは常人中の常人として、穢多同樣の取扱ひを受けたるを以て、彼等も此天賦を誇とはせず反つて身の仇と思ふ程に候ひき。若彼等を奬勵し、賞讚したらんには、燦然たる世界的大美術大工藝を出すべかりしにと切齒に堪へず候。全北物產陳列所に於いて普通學校及び簡易工業學校の生徒の精巧なる手工品を見て、一層此の感を深く致候。時尙遲からず、今より彼等が天賦の才能を自覺し、奮勵努力したらんには、朝鮮の京都人として、美術音樂に貢獻する所多かるべきを確信致候。當局に於いて、又各普通學校に工業學校を設立し、所々に於いても、殊に此の點に意を用ひらるゝ由に候へ共、尙積極的方法を取りては如何、全羅北道の五大方針中美術工藝の獎勵なる項目なきを遺憾と存候。是は殆んど農事の改良と並行する程、重要なる者にては候はずや。小生は將來全州あたりに、高等工藝學校美術學校乃至は音樂學校の設立を希望して已まず、全州をして朝鮮の京都たらしめざるべからずと主張せんとする者にて候。全羅道人の血管中に、一千餘年間眠れる百濟人の血は、是に於いて燦然と光を放つべく、或は希臘源流の西洋美術に對して、百濟源流の新美術を出だし世界に貢獻することなしとも限らずと存候。旅中閑なし先は思出づるまゝ斯くの如く候。匆々不一。

(七月六日朝全州にて)

人事消息

▲田中玄黃氏(平壤高等普通學校長) 九日午後入京南山尾へ
▲岡村左右松氏(日本製鐵重役) 九日朝仁川へ
▲中村辰五郎氏(鎭南浦商業會議所) 同歸還
▲山口宗治氏(三井鑛山員)▲津田政一氏(同) 九日退京
▲白井永城氏(辯護士) 九日入京

島の巡査生活 (二)

■陽氣なことも陽氣だが又苦しい■

◇◇◇米や味噌は木浦から
夕闇に漂ふ哀音悲歌◇◇◇

島民は大抵お百姓、にあらずんば漁師と相場が極つてゐる、然し百姓は居ても荷衣島を除けば、作るものは主として棉花で、米や麥は全然出來ぬと云つてもよい、だから島詰めの巡査は米は無論の事、味噌、醤油、副食物と日常生活に必要なものは一切、便船毎に木浦から仕入れるのだ、けれども時に依ると、時化の爲めに便船が一つもない事がある「オイ未だ米があつたかな「ねヽ當分大丈夫ですわ……」などヽ濟して居た日には

◆こんな場合、佗ち陷つて終にはお粥◆

食糧攻めに

も喰れなくなる、故に島では一勺の酒、半本の麥酒と雖も貴重なこと勿論、これだけは田舍の方が本場の野菜すら、容易に口にすることは出來ぬと云ふのだから不便なもの、是は島生活の日常に於て最も苦痛とする所である、尤も島に來る以上、不自由と寂寥は覺悟の前でも、愈々實際に島生活を經驗するに及んで、その豫想以上に不自由なのに

◆しみ〴〵と探る、といふ奴なぞも◆

暴露の悲哀

それに勤務も思つたほど樂ではない島內の巡廻から種んな取締、行政事務の取扱ひ、犯罪の檢擧と、本署では夫れ〳〵係を設けてやつてゐることを、島では殆んど一人で遣つ付けねばならぬ、殊に犯罪檢擧などヽ來たら、島中グル〳〵驅ずり廻つた揚句、時によると島から島を飛び歩かなくてはならぬ事もある、何、そんなに繁劇かつて？そりや年百年中こんなでもないさ、又年百年中こんなに忙しかつたら誰が一日だつて駐在所なんかに居るものか、人生一日も慰安なかるべからず「忙中自ら閑あり」で、そこには又底もあれば蓋もある

◆從つて不自由なる島生活も續けて行かれる譯だ◆

島生活も續

赴任早々最も心細く思ふのは太古のやうな島の寂寥である、毎日顏を合せるものは多く李氏金氏の徒、無論支那芝居や寄席があるではなし、復辟しやうが、四百餘州が麻の如くに亂れやうが、そんな事には一切沒交渉、唯だ靜寂に明けて靜寂に暮れるのである、偶々この靜寂を破るものがあれば、それは隣の李書房が自暴に怒鳴る

◆「アレラン」の歌◆

哀調か牛か

鷄の聲か牛の聲である◆

紅い夕陽が水平線の彼方に沒して、しのびやかな闇の色が軒端に迫る時、何處からともなく漂ふて來る「アレラン」の歌—恰かも泣くが如く訴ふるが如く耳朶を打つて、孤舟の嫠婦ならねど、劍佩く身は泌々と或物を考へさせられる、傍から見れば宛然一幅の詩であるが、御本尊は却々それ處の騷ぎではなく、セントヘレナに流された大奈翁に今更の如く同情を寄せるこそやら——。

◆京味—九日新龍山にて—

日本の風光を歡賞せん

露國前陸軍大臣セルキエフ氏
一行十一名朝鮮を通過す

露國前陸軍大臣陸軍大將ニコライ、セルキエフ氏、夫人、令孃二人、同陸軍最高學府長(陸軍大學校長)デオドル、リツチフ氏、夫人、令息、令孃四人氏等の一行十一名及び露國商人ハンス氏は八日午後七時釜山棧橋驛著の列車より下車直ちに關釜連絡船新羅丸に搭乘し同八時三十分出港下關に向ひたり記者はセルキエフ氏に會談を求め一行の

▽渡日要件を 問たるに對し同氏の語る「二箇月以前に陸軍大臣の職を退き直ちにペトログラーフに於て器械類及びロープを販賣せるカフカス會社に社長として入社し今回は同社の用務を帶び六月廿七日露都ペトログラーフを發し橫濱支店に赴きつヽあるを以て直ちに橫濱に直航し用を辦じたる上鎌倉、東京、大阪、長崎等を巡遊すべくリツチフ大將と共に

▽家族一同を 引連れ來りしなり」と語りて他を云はず記者は革命後の感想を問かんと追求せるに對し氏は微笑を浮べ「自分は現在一商會の店員に過ぎず政界の狀態は更らに知る處にあらず」と避け日本滯在の日數を問けば「日數等は豫定せず暫く日本の風光を觀賞する積なり」と語れり記者は露國は聯合國討獨の戰爭中に閣下の如き陸軍大將の

▽重職に在る に拘らず悠々外國に觀光の遊を貪るは甚だ以て記者の了解し能はざる事に屬す今回の渡日に就ては何等か重大なる任務を帶びられ居るに非らずやと問を試みしに同氏は微笑を湛へつヽ「自分も二箇月前迄は陸軍大臣の職に在りて重大なる任務に在りしも現在は一商社の社員たるに過ぎず何等顧慮を要することなし」と輕く答へて自から擔ふ荷物の處理に忙しげなりき(釜山)

狂人入江三郎 手錠の儘逃走

神戶附近は須磨遊園地の豹未だに發見されず日夜警戒しつヽある折柄又も近傍を騷がしたる狂人入江三郎は九日午前二時湊川隔病院第八號室の頑丈なる室を破りて手錠の儘逃走したるより大騷ぎとなり目下百方手當中なり(大阪特電)

咸南高原に 亞鉛鑛精煉所設置

咸鏡南道高原郡に於て神戶市鈴木商店の手にて文泉産の亞鉛鑛精煉所を設置するの計畫成り高原川の水力を利用する筈なり

支那兵、列車に發砲

我が郵便局員一名重傷を負ふ

七日朝北京發天津行列車に向つて沿線の支那兵發砲し乘込み居たる我が郵便局員小野寺某重傷を負ひたり(北京特電)

鎮海情死後聞

男は壯俳上り=主家の金を費消=鮮屋に潛伏す

去る五日鎮海に情死を企てし馬山府都町一丁目馬山青物市場雇人寺井虎吉(二三)といふは性來壯俳上りにて以前地方の素人演藝會等に出演せし事あり商物市場員となりて折々鎮海邊に集金に往く時は居の金を蕩盡化して遊里に踏み込み

▲酒色に溺れ 居る中鎮海に於て買ひ馴染みたる同地遊廓萬歲館の抱妓花子(二〇)と云ふに執心し同地に赴く都度花子を聘び居りしが壯俳的の擧動が花子の氣に入り花子も勤め氣離れて待遇し二人は離れ難き仲となりたり然るに虎吉は五日鎮海の集金を命せられ得意先にて數十圓の金を集め萬歲館に登りて金のあるに任せての大散財を爲し

▲飲めよ謠へ の二日間流連して集金は悉皆費消したれば此儘馬山に歸ることもならず左りとて金の工面は出來る筈なく思案の末死ぬ氣になり花子に相談せしに花子も同樓に三百餘圓の借財ありて之れを返濟するは容易の業にあらねば一層男の道伴れとなつて死なんと同意し深更人の寢靜まるを待ちソツと同樓を拔け出でて里餘もある飛鳳海岸(鰐淵沖とせしは誤)に出で

▲二人の身體 を確かと女の細帶にてしばり海中に躍り込み二人は海中にて苦悶に苦悶すること數時間其途端に結びし細帶の解け男は少し水心ある所より女の益々狂ひ廻るを見て恐ろしくなり急ぎ海岸に泳ぎ付きて近傍の鮮屋を叩き起しこヽに身を潛めて女の容子を窺ふ中女は遂に絕息したり、斯る間に夜も明け渡り女の屍體が水上に浮び居りしを漁夫の發見する處となり其筋に屆け出でしが早速官憲出張し檢視を遂げ屍體は關係者に引渡し鮮屋に潛伏せる虎吉を直ちに取押へて目下鎮海警察署に留置取調中なりと(鎮海)

愛讀者優待
東京 杷撰 木戶割引券
本券御持參の方に對し一名限卅錢の木戶を廿錢に割引致候
京城日報社
平壤興行中

◆中元の◆ 贈答品

▽何が好いか△

■岐阜提灯■風呂敷■白扇■
■中形■浴衣■西洋菓子■簾■

昔は中元贈答品と言へば主として砂糖、白玉、葛粉等の飲食料品を撰び形の殘る物は先方に失禮に當たるからと言つて成るべく之れを避けたのであるが、近頃は

◆贈答の形式も大分變つて 來て贈答者自身が心づくしとして思ふまヽのものを贈答する樣になつた、京城の各階級を通じて最も贈答されるのは盆を控ねてゐるせいもあるが、岐阜提灯などであり、鳥渡體裁もいいし、實用向きでもあるから貰つた方でも喜ばれるであらう値段は十四五錢から一圓二三十錢まで種々あるとの事である贈答品と言つても品物の數が非常に多いので

◆何を選ぶかは各々の 趣味や懷ろ勘定にもよるのであらうが先づ金額によつて分けて見ると二十錢以上五十錢以内位ではタオル、木綿風呂敷、白扇、白木鉛筆一打、色鉛筆等で、五十錢內外から一圓內外までヽは組合文具箱、半襟、縮緬小帛紗、絹ハンカチーフ、バスケット、西洋菓子、香盛など一圓內外から一圓五十錢內外までの物としてはモスの蹴出し、メリヤス襯衣、卷烟草入、ヅボン吊、カフスボタン、敷布、香水、ネクタイ、ピンポン玩具などで

◆一圓五十錢から二圓內外では中形浴衣地、スプーン、ナイフ、フオーク等の洋食器、コツプ一打、縮緬類腰帶又は絹縮帶揚千代田草履等でその他値の嵩むにつれて種々の品物があるが要するに贈答の目的は受た方をして快よく思はせるのが主なるものになつてゐるのであるからよく先方の家庭の事情とか趣味とかを考へて品物を選擇するやうにしたいものであると思ふ、然して一般に昨年よりは平均

◆二三割方位諸物價が騰つて ゐるので同じ金を出しながら手頃のものが買ひ難いといふやうな傾きもあるので各商店共中元用の商品切手を發行してゐるが之れなどは確かに便利であるに違ない

檪村畵會 三越二階に開會中なりし鶴田檪村氏の半折畵展覽會は九日も開會觀覽者多數ありたり

失火罪 京畿道加平郡下面縣里金興石妻朴福仁(三九)は本年三月十三日午後二時頃自宅溫突に焚火の儘他行中發火して遂に自家一棟を全燒するに至らしめたるより失火罪として公判に附せらる

舊惡露顯 京畿道抱川郡栢沙面松米里林洙學(三)林國鎮(九)兩名は明治四十四年舊七月中同里李敬成方に二回侵入し荒繩にて同人を縛し木刀にて亂打し現金三十二圓を强奪したること發覺して先頃捕はれ公判に附せらる

讀者文藝

▲物は付け『盛んなるものは』
○正貨の激增(一等) 黃海道信川 紫浪
▲船成金の勢力 京城 森坊
▲六十過ぎての年子持ち 仁川 惠伸
▲朝鮮の旗 [illegible] 京城 [illegible]吉
▲選擧運動 京城 八阪多美子
▲ストライキ(先著) 別府 步外生

小便から袋叩き 釜山府牧の島千九百四十番戶江口榮太郞は去[illegible]居見物[illegible]く可く出掛けしが芝居に以つて頭口を毆打し頭部に長さ一センチメートル深さ五センチメートルの裂傷を負[illegible]るより目下其筋に[illegible]

商況

債券現物特電

公債直取引

深川正米特電

東京期米特電

大阪株式

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

綿糸布跳返す 前週末に於て反動甚だ盛なるに綿糸布も昨休會中の棉花の反落に依り臨時入電は米棉二圓綿糸五圓高の跳返しを報じて休會明けの今朝は米棉四圓高綿糸三百二十四圓二十錢當限三百三十八圓五錢現物は角七十六手三百三十九圓九十錢を報じ更に大阪市中相場として平標十六手三百九十八女十手二百八十五圓の人氣に綿糸は十圓三銘先物十圓の入電あり綿糸は十一萬俵の內

利喰 係波の容易に收まらざる當然の成行きにて一面此大利喰ひ係波の...

洋灰は頭打

九圓を呼

需給の調節を得

一時的の作用

日茶値上げ

卸値二十二圓三

四十錢方の値上

鹽鯖は不味

三錢處を保合

昆布不引立

確實(定期米 賣買委託) 仁川海岸町 取引所仲買人
迅速(御報大第 送是す話) 電話六〇番・一六五・六三三番

南部は十二圓

南大門の廻穀

人氣沸騰す

使も成行

賣方一部の恐怖的

買物の顯

期米目先觀

沸騰 今前場更に

下關相場

京城正米

釜山穀物

仁川期米

▲九日前場(沸騰す)
天候 大阪天候
安の入電
度と九錢高に寄付
更に十八錢と沸
と强硬の成行

市場零聞

更に昂騰す
正米高氣配を受け
朝米二、四十錢高を唱

三巴仲買店
仁川米豆取引所仲買人
電話 [illegible]

今 仲買店
仁川米豆取引所仲買人

仁川米豆取引所
九日の九月限

田中
電話 長一六二八番

募集規程 用紙は端書又は同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲締切は一週間後▲種目は兆候

天氣 晴れ時々曇り

……島義造、本町一丁目河合時計店の職人北住卯吉及び時計職人高木某の三名と共に午後三時頃より六時過まで一飲み續けそれより一同打揃つて……年なるに其飛沫……口に掛……りしより江口は咎めし處……は却て怒り出し……の二名と力を協せ下駄を……を歩き……かて村大……

◉連絡船乘客 八日午前八時四十分釜山入港新羅丸一二等客……一等客英國人ナイト、露國人クレーエン、……八日午後九時四十五分釜山入港對馬丸一二等客……

綿糸成金の申譯廣告

黄金が儲かり過ぎて大心配

◆眠れる如き三品市場が俄然一大活況を呈して來たのは數月以前の事であつた、原因は買占團の蜂起にありとせられてゐたが、之が都合よく大勢と合致して綿糸は日々の暴騰を續け目下三百圓と云ふ驚くべき高値を欲くに至つた、強氣筋の儲けは莫大なもので船鐵染料株成金の外に綿糸成金と云ふが一つふゑた。

◆と云ふ有樣で買占屋が綿布の中で臨り上つてゐる中にも、三品仲買小田清次郎商店は餘り儲け過ぎて少々蒼蠅くなつて來た、丁度うまい物を鱈腹喰つて眠くなつて來た耳の傍でガン〳〵騷ぎ立られるやうに買占だ〳〵そうして獨り暴利を貪つて綿布の實際に於ける需要者の困難を顧みない、綿布は日用品である、下級民を直接困らせる事にもなる、不埒だ、只儲ける事ばかり考へて商賈の眞の目的が需要と供給を圓滑ならしめるにある事を顧みず、買占が社會の何の邊まで影響するかも無頓着で冬にもなつたら下級民を裸で暮させる積りなのだらうと云つたやうな聲がする。

◆小田清君柄にもなく一寸神經を惱まし眠い眼を擦り〳〵發表廣告した申譯が『小田商店三銘綿布買附に關する意見』と云ふのだ、買附數量は現在品と會社生産額の範圍を出でない、決して無暗な買占政策を弄して人爲的に價格を釣上げ下級民を裸にさせる積りぢやないと先ず頭に逃辭を設け歐亂の結果英國綿布の東洋方面輸出不可能と米棉凶作續きを見越し本邦三銘綿布の寧ろ格安なるを思ひ大勇斷買附をなしたのが果然日々棉價の騰貴を見るに至つたので、弱氣側の漫然大勢を悲觀し去つてゐたのは實情に迂遠なからである、決して人爲的釣上げでないから、諸士幸に之を咎むる勿れと云ふのだ。

◆買附けて損をして傷手で寢てゐても誰も見舞つては呉れない、儲けたからとて遠慮は要らぬ、が思惑以上に儲かり過ぎると又禍が起る、人間と云ふ奴は案外氣の弱いもので弱氣側で推して浮ばれぬ亡者や下級民の裸の幽靈でも出ようものなら小田清君は目をまわすかも知れない、金を儲けた申譯の廣告と云ふのは小田君を以て嚆矢とする、お目出度い事であると或通人の話。(大阪)

◉水道水の盗用

仁川では近頃多くて困ると當局の大滾し

今に始まつた事ではないが朝鮮人は上水の盗用をする者が多く當局は極力之れが取締に努めて居る某當局者は貧民には夏期丈けでも上水を無料配水したいが現行のまゝでは非常の場合でない限り此れを如奈とも致し難いから遺憾だ處で鮮人の上水使用状況を檢べて見ると甚だ微々たる者で其の大部分はアンモニヤ細菌やコロールの汚染した惡井水を用ひて居るのであるから危險極まる自然不安のない水道水を使用する方が安全であると感ずるがさて使用料の負擔は苦しい其處で止む無く針金を枉げて不正鍵を作つたり水道給水者から鍵を借りたりして盗用する殊に本年の如き旱魃の年には甚だしいので當局も盗用を防がんとして極力取締を嚴にしたが全然根絶せしむる事は出來ない途ひ二三日前にも花平里宋姓女なる者を水道規則違反者として告發したが本年は春季以來殆んど反則者の跡を絶つた事がなく告發頻々たるは閉口だ云々(仁川)

◆水泳は何んな効果があるか

心得べき數々

水泳の季節になつたに就いて御注意を斷つて置きたいことを一言御話申上げます、水泳はお若い方々は勿論年寄の方にも精神上からも衛生上から又

◘自衛の上から も、良いとですから、お奬め致しますが、第一水泳は皮膚を強くし、抵抗力を强くする上、日光に浴する機會が多いから、隨つて色が黒くなるが、然し身體に却て之がよい効能となりますで子供の生白いのは不健康を意味するもので、決して賞めたものではありませんまた、精神的にも水泳は色々な意味で効果を與へます左れば

◘水泳は男女を 問はず必要ですが、然し六歳以下のものは入れない方が宜しい、第二には水の注意ですが、これは河水の方よりは海水の方が大に効があります、と申して海水河水孰れの水にしても永く水中にあるのは宜しくない大人小人共五六分位から、十五分位迄が最も適當した所です、其より以上永く泳いで居るのは却つて害となります、其れから注意すべきは

◘耳の保護で 水泳者中には從來不注意からして耳に水が入つて、聾になつたり腦を傷めたりしたものが尠くない是等は水泳の方法を知らないので、水に入る前に耳の穴に唾涎を付けるか、又は脱脂綿を入れて置くが宜しい次に高い所から飛び込むことも熟練したものは別ですがさもない者は腹部を打つたり睾丸を打つたりして

◘危險ですから 試みない方が宜しい、其邊は傍に居る敎師の方々が充分注意して貰ひたいのです又酒類を呑んで入る事は一層の危險ですから、これを止めなければなりません、それから女で水泳をする者がよく大きな帽子など被つて居る樣ですが、男は成るべく被らず、先づ

◘手拭で頰被り 位にして置くが宜しい、次に少しでも眼や耳の惡いもの、腹を損じて下痢でもして居るものは斷じて入らぬ方が宜しい水泳を終り陸に上つてからは、兵水で身體全部を、よく拭うて後腹部を冷さぬ樣にすることを忘れてはならず又家に歸つて腹が空たからとて一時に大食してはなりません

◉夏枯の鮮人街

農繁期に際しつゝ有るを以て奥地方面よりの諸物貨注文は殆んど稀なり隨つて仁川に乘込む者尠く朝鮮人街は夏枯閑散の時期に入りたる者の如く一時劇場花柳界旅宿等連日大繁昌なりしに比し火の消えたるが如く寂れ居れり布木商雜貨商は時節柄荷動無く米穀類の入荷又激減し居るを以て此の方面の關係商人及び歩行客主は閑散を極めつゝ有り一時定期米の相場の動搖激かりし當時は地方より來仁する者多く隨つて各方面此等定期關係者に依りて市況活氣を帶びたりしも昨今は相場の大勢は沈滯に傾き當分マバラ筋の取付き得ざるより自然一般市況に影響し沈靜不振裡に推移しつゝありと(仁川)

渚の砂

◙老夫婦の燒死 遠州引佐郡鎭玉村飲食店鈴木安蔵(八六)妻とせ(七五)の老夫婦は四日夜就寢中消洋燈が蚊帳に落ちて火事となり家諸共に燒死を遂げた

◙娘六人の行衛 和歌山縣湯淺町で十六と十七歲の娘六名が輕業見物に行くと言つて四日の夜家出した儘行衛不明となつたが何でも相談して大阪に逃げ込んだらしいと

◙車掌のため自殺 大分縣大野郡土井田小學校訓導佐藤[illegible](二六)は四日受持生徒を連れ遠足中一生徒が[illegible]溺死したのを悲觀し[illegible]祖父の家で短刀自殺を企てた

◙困つた村落 愛知縣加茂郡下河原村見直區は小學校の位置問題から紛擾を起し一部落三百三十四名は悉く税金を滯納し學童は三箇月休學し居る不穏なので郡村長等は紛擾の調停中だそうな

◙柱子の投身 愛媛縣温泉郡石井村渡邊與太郎妻しん(三四)は三日夜些細の事から夫婦喧嘩の末夫に面當の爲め長女よし(二つ)を背負つて村の川に投身自殺を遂げた

◙二十萬圓の金剛石 東京三越呉服店に此の間白耳義國から輸入した金剛石は直徑七分五厘厚さ三分正量約二匁ある 闇夜にも燦々と光りを放してゐるといふことで其の價格は勿論二十萬圓だそうな

◙偽大學生 長崎縣南高來郡島原町生れの仕立職人西原[illegible](二九)は角帽を被つて偽大學生になり時には刑事だと稱し福岡市中を出沒して色仕掛で澤山な婦人や女學生を騙した上に金品を捲上げてゐる處を御用

◙この親この子 阿波板野郡撫養町[illegible]佐文吉(四一)は知合ひの赤松文吉(四一)から池邊ひな(三六)といふ情婦と縁を切れと忠告されたのを憤つて長男榮吉(一二)に加勢せしめ四日夜文吉を刺して重傷を負はせた

◆汚點を拔取るには何うすれば好いか

◆第一 油類の汚點は吸取紙を汚れた部分に當て裏から揮發油にて拭く

◆第二 大抵の染の汚點はアルコールに浸して置けば取れる

◆第三 インキ類が白色のものに浸點した時は一日二日の間牛乳の中に浸して置くが良し染色のものでは地色まで取れて仕舞ふからいけない其處で染色には鹽とレモン水に浸け置けばよろしい日が經るに隨つて取れて來る

◆第四 ペンキは汚點の裏からベンジンを塗つて擦ら汚れの新しいほど早く落ちるベンジンの代りに石油の上等を使つても良い

◆第五 蠟及びパラヒンの汚點は吸取紙を汚點の上に當て燒ゴテにて擦するか良い紙は度々取換へればならぬ

◆第六 血液の汚點は水に浸しアイボリー石鹸にて洗ひ落す又た澱粉を水にどろ〳〵に溶き塗り付け置きて洗ひ落すも良い

◆第七 鐵にて汚點の出來たときはレモン汁か塗り日光に曬すが良い又ハクボクの粉などすつて振りかけて濕らして良き程の時、日光に曬てゝ置くのも良い

◆第八 金錆を取るには硼砂を四合の水に溶か茶碗一つ程入れて硼砂液を作り皿に盛つた上に汚れた部分を擴げ酢を一滴づゝたらし少し色の薄くなつた時に此硼砂液に浸すが良しレモン水で展次濕した上日光に曬すも良い

◆第九 茶の汚點は汚れた部分を茶碗の上に擴げグリセリンを塗つて沸湯を高い處から段々と落しかけるか又はグリセリンの代りに硼砂を溶いた水を用ゆるも効能に大差が無い

◆第十 酒の汚點は手早く鹽を出來る丈け厚く塗つて熱湯で洗ひ落すがよい

▲玉菜の胡麻味噌かけ 玉菜のあまり大きくないものを撰み上葉を去つて深鍋に入れ煮汁か鳥のスープなどを玉菜のかぶさるほど入れ文火にて二時間ほど煮ます中の芯まで煮たところで醬油少々と砂糖少々とを加へて更にしばらく煮含べるときまで火にかけておきます別に黑胡麻をよく炒り擂鉢にて摺り味噌を入れて共に摺り砂糖または味淋を少し加へて鍋にうつして煮汁にて少しゆるめ火を通してさきの玉菜の上にかけて食べます玉菜は適宜の大きさに切つて椀に盛つたがよろしいですこのお料理は老人向きとして特に賞味されます

◙訂正 七日夕刊三面所載『鰻蟲發生』とあるは其筋に於て調査の結果夜盗蟲なりし事判明せるに依り此處に訂正す

□來舶食料品が安い

中元の贈物は何うするか

近頃市中の店頭は何れも『中元贈答品』の賣出しで賑つてゐる中元の贈り物が好いか惡いかと云ふ事は隨分議論されても居るやうだがこれも矢張り社交上必要なものであつて例へばお盆が來ましたからとて洋菓子の一箱も持参して平生の交情を表現して更に友誼を温める事にもなり又日頃厄介になつた先へお禮に行くにも盆暮なれば角が立たぬものである故に

◙中元の贈答品 の如きは形式に流れぬ限り大いに善いことであると思ふ然るに其の贈答品として如何なるものを進物とすべきや此問題は極めて容易なる如くして實に甚だ困難であるが以前は隨分高價な反物の如きものが流行したものださうだが今では一般に實用向きの品が歡ばれるやうになつた就中食料品の如きものなれば一家の内誰にも分ける事が出來ると云ふので隨分賣れる相である殊に朝鮮では内地と異ひ

◙關税が素敵に 安いので高價な舶來品が内地などより非常に安價であるから一般に洋酒、洋菓子、舶來煙草等の進物も歡ばれてゐる現に朝鮮銀行前の老舗靑木堂の如きも昨今商品切手を出して大賣出しをして居るが中にも美麗な籠入りの洋酒三本一組で三圓七八十錢位から四五圓位のもの、洋菓子一圓以上の品や亞米利加製果實の鑵詰なども却々好人氣のやうである又木箱入りの『乾葡萄』は一箱一圓七十五錢位だが奥斗に水引をかけると

◙頗る見榮は がすると云ふので之れも隨分賣行がある又廿口の『ベルモット』は一瓶一圓六十五錢位なのも克く疏通るが殊に舶來の『葉巻煙草』は三圓以上二十圓迄『金口土耳古煙草』の如きも一箱一圓二十五錢から六圓迄あつて其他サツポロビールシトロン等も却々評判が好い。又た西洋食器具も家庭向きとして歡ばれてゐるが兎に角贈答品としては何を贈る可きか之れが

◙中元の贈答に 際して最も迷決し兼ねることだ先方の趣味や嗜好の判明せぬ時など殊更にこれに當惑するものであるが此樣な時は靑木堂あたりの店頭をのぞいて見るも一捷徑である然し一番輕便で歡ばれるのは商品切手であるこれなれば只其の金額の決定のみでなく總ての難問題が無造作に決定する譯で貰つた方でも店に往つて隨手に自分の

◙好きな品物を 選擇する事が能きるし又僅かな品物でも取合せて求める事が能きる殊に靑木堂では階上にある東京番町の本店や『カフエーライオン』の西洋料理バタ公園の喫茶店料理まで此の商品券でお薦めすると云ふ勉強振り之も商略として頗る妙案で靑木堂の活動振りは最も目覺しいものである

△下旬付『番人は』 同十一日 同十二日
△猪め… 同十三日 同十三日
△俗謠「風鈴」 同十四日 同十五日
△川柳「東」 同十五日 同十六日
△物は付『集らぬものは』 同十六日 同十七日

●投稿一束……●廣告者には五十……割引券を呈す(但……)●何番何號と明記に限る▲宛名は京城日報編輯局諸者…係

演藝案内

大正館 櫻井町 電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
◎七月九日より特別興行 ◎千葉御愛顧に酬ゆる爲め入場料値上げ不致候! ○滑稽活劇『マペルの勇氣』(最長編) △米國キーストン會社秀作 ○日活東京派立花貞次郎一派出演 ○新派悲劇『罪の子』(全四卷) △祖母は強慾にして利慾の迷夢に陥り…… ◎舊劇『稻葉太郎鬼門』(全五卷) ……

有樂館 直營 早川演藝部
東京小林商會朝鮮一手代理店 米國ユニヴアーサル會社特約 電話(階上)四九七番(階下)二〇五番
△七月六日より封切文藝大寫眞『マクベス』…… ○大滑稽『土耳古風呂』…… ▼第七『紫の覆面』…… ▼人情劇『鐵壁』(全二卷)…… ◎舊劇『大名五郎蔵』(全五卷)……

壽館 桃中軒 二代目 雲右衛門

浪花館 明治町 電話二六〇
△浪界明星京山若梅、原晴夢合同 ◎七月七日午後十時より開演 演題 △寛永勇士揃(京山若子) △東の花義經 柳生旅日記(若圓) ◎雪の曙本傳播州皿 動功記(原晴一) 屋敷(晴夢) △入場料は破天荒の勉強三等十錢二二等廿錢

黄金館 電話二六三七 六五二
大活色活動寫眞株式會社京城黄金館一手代理店
△七月七日より …… ○『鏡屋五兵衛』(全三卷) ○喜劇末…… 大仙……

壽館 京城一町目 電話一〇三
◎二代目桃中軒雲右衛門一行 ◎七月九日より…… △奏西喜劇『黑胡蝶の女』 △飛行家羽根子 ……

大正館 本日より
舊劇 尾上松之助大奮闘血沸肉躍 稻葉太郎鬼門 全五卷
新派悲劇 立花貞二郎一派大車輪劇 罪の子 全四卷

稻荷座 本町五丁目
當座本年一月興業に於て非常の好評を博したる大阪親友派浪花節泰斗竹川馬生一行滿洲地方巡行中の處今回内地へ歸る途次に際し再度當座に於て來る七月五日午後七時より開演致す事に相成候間前回同樣賑々敷御來車被下度此段奉懇願候也 敬具

御成座 電話一九一一
▲現代新派當世劇一行九日の替藝題 一番「新派活劇」臺灣土産 二番「喜劇」ゲンコツ 三場 九場
俳優名(いろは順)井上泰夫、石巻勝之助、西田秀夫、番日三郎、非田一郎、山田志乃武、山岡定夫、藤田正光、小泉憲之助、淺川明、三井不二夫、三島之助、白川一志、須藤二

男女社員募集 (日鮮人但し鮮人は日本語を解するもの) 月收五十圓以上確實 趣味豐富なる簡易事業昇給の道あり希望者は本社外務部長宛履歴書送れ 本社東京市丸の内有樂町二丁目四番地 大日本勸業株式會社

中元御進物品賣出し
檸詰・化粧箱入・上袋入・砂糖切手
御砂糖
京城本町一丁目 電話七一七番
澁谷商店

土藏あり預り保管安全
南質店
明治町二丁目八十七番地 支那領事館前通 貯金債券買入
まちや

期米
大阪堂島米穀取引所仲買人
曽我商店
政府の實無代進呈

十馬力乃至十五馬力の中古機關 吸入瓦斯(機關)買入 吸入瓦斯一臺買入れ度し放賣希望の方は下名へ御通知を乞ふ
忠南大田 大田皮革株式會社内
本間巽

中元御進物品 本町 龜屋
▲評判の金剛飴 ▲便利な商品券 ▲新柄雜貨▼
▲洋酒籠入 ▲おいしい菓子類 ▲珍らしい鑵詰▲

內科 小兒科 (入院隨意)
京城櫻井町 (電二二七一番)
池上醫院

▼朝鮮ノ行政區劃一覽出ヅ▲
司法大臣松室致閣下題字
法政大學校友 關西大學校友 越智唯七編纂
土加古貞太郎先生序文 京都帝大教授小笠原寛先生序文
新舊對照 朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽
大正六年四月十日現在總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金參圓
是レ總督府及各道廳ニ於テ一大廢合セラレタル府郡面里洞ト舊廳決了シタル土地調査局ノ調査ト相俟テ朝鮮全道ノ行政區劃ハ確定セリ然レトモ未タ一目瞭然タルノ書籍ナク執務上參考上不便此上ナキ折柄本書ヲ編纂セリ本書ニハ道、府、郡、島、廳及面事務所ノ所在地ヲ示シ末尾ニ朝鮮ノ沿革、日、鮮、清、西暦ト對照年號ヲ示シ管區數、人口、戸數、道路、里數、各道ノ廢案、交通、産物、名所舊跡、温泉其他ノ概況ヲ掲ケ、各官廳ヲ初メ政治家、實業家、學者、交通、産業其他何モ朝鮮ニ關係ヲ有スル士ノ須臾モ缺ク(ヘカラサル)ノ必携書ナルコト敢テ多言ヲ要セサルヘシ此際實價ニ等シキ價格ヲ以テ發行セリ部數ニ限リアリ諸賢速ニ購求セシレンコトヲ請フ
發行所 京城府公平洞五番地 電話一四五〇番 中央市場

優等清酒
菊正宗
釀造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店
發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話一〇三九番 振替口座四三九番

京城明治町二丁目(元濱城病院下横通) 電話二三四〇番 院長 衣笠茂
中央婦人病院

在庫豐富 迅速確實
英國サミールオスボン製鋼會社關東代理店
英國アーサーバルフオーア製鋼會社特約店
歐米鋼鐵、純國産鋼各種
井口鋼鐵商店
東京市神田區東紺屋町一番地
電話神田四四〇・九六九・七番 振替口座東京二四四八八番

あらゆる虫退治は田澤はいとり粉
●諸官署實驗有効證明●
愛付の撒布器から霧の如く撒粉して心持よく蠅は勿論左の諸害虫を全滅せしむる重寶なる驅虫粉なり
室內の虫 蚤、蚊、蠅、油虫、南京虫等
植物の虫 菊、胡蘿蔔薔薇等草花の虫、蔬菜果樹、樹木其他農作物の害虫
動物の虫 牛馬の蠅、虻、羽虫、だに、毛虱等
人畜植物無害
定價 十五錢 廿五錢 德用 四十五錢 一圓十錢 二圓(各藥店にあり)
東京本町三 里村商店 電話本局 四七一四四五三三五六五二 振替東京

業務擴張廣告
拜啓海陸各位彌々御隆昌の段奉慶賀候陳者弊店儀今回業務擴張の上從來のマルリ森仲買店を繼承し七月九日より開店一層誠意敏速を旨として期米賣買正米委托賣買何現物受渡に對し特に低利御便宜を謀り取扱可申候間何卒多少に不拘倍舊御用命御引立の程偏に奉希上候
定期米現物 委託賣買
仁川府海岸町三丁目 仁川米豆取引所仲買人
ナ 仲買店
電話長九〇五番、八三一番 電略カク(又)ナ

明君道中記

第二百一席　田邊南龍口演

今「若し源八さん何うも氣の毒なこんですな　源「然うともね京で唐津屋さんと云へば誰も知らぬものない、程名高い藥種屋さんだつたが飛んだ災難からこんな罰に入つて來て　今「本統になる人は曲ると叶かんもんだ、娘さんが容色美しで此の大津宿で小町〳〵と云つて居たのが遂ひ代官の小倅に聞これて緣談や然うすると居　津「源右衛門さんが彌はつたがそれが遺恨で遂々こんどの寃罪、市中引廻しして彼の宿外でお所刑だ　源「南無阿彌陀佛〳〵、源右衛門さんの最期を拜みませう」先に立つは裸馬に白衣を纏つた源右衛門が乘つて頰はこけて色蒼白て勞苦の程も察せられます、紙幟が風に飜へつてしほ〳〵と宿中を廻る、その哀れさは例ふるものがございません、愈々刑場に連れられ今所刑につく〳〵と云ふ時バラ〳〵とそれへ蒐込みました二人の侍○「待て、コレ暫く待て」源右衛門の首を刎やうと一刀を振冠つて今正に斬下さうとするその腕を把らへた彼の侍○「待たぬか」パッと三四間彼方に投げた、サア大變でございます狼藉者奴ッと代官所の役人數十人得物〳〵を取つて彼の二人の侍が周圍を取卷いた刑場でございますから竹矢來がめぐらしてあるその矢來外に多くの見物人が居た是等は皆な此の大津の代官石原清左衛門の惡政に苦しみ居ります者で、大いに唐津屋源右衛門に同情して居る、今殺されやうとする處を何れから來たか二人の侍、代官所の役人を取つて押へ源右衛門を助ける、此の樣を見て喜んで居ります○ヤイ、太郎兵衛見ろ偉いものや、彼の侍に加勢して遣れ　太「主が加勢して遣れ、我は腰が痛い○「薄情な奴だ、俺か俺は殺されると叶けねい、太「馬鹿にして我だつて殺されるのは厭だい、アー大變だ見ろ大きな坊主が出て來たぞ、ソラ侍に加勢した」火花を散して互に打合つて居ります、此の時代官石原清左衛門は　清「不禮者の彼等を捕へて押へろ」手下の者に力を付て一刀の鞘を拂つた、此の時矢來を破つて四五名の若い者が飛込み侍に加勢をして代官役人に打て掛る、大津の宿は鼎の沸くやうな騷ぎでございます處へ葵御紋の附いた大小を帶して此の刑場に參りました立派な武士○「コレコレ狼藉者、宅兵衛宇平次暫く待て、ヤーア代官所役人待て、予は松平長七郎であるぞ慮外致すな」ハッと一同夫に平伏した、彼の兩人の侍を加勢に來た坊主はツカ〳〵と其武士の前へ來た　長「オー宇平次宅兵衛夫に學傳も怪我いたさぬか、夫は何よりして源右衛門はオウ然か早く繩を解て遣れ、コレ〳〵宿の若い者宜く加勢いたしてくれしぞ追て禮はいたす早〳〵是を出でろ、石原清左衛門　清「ハ、ツ、北の丸若爺樣にござりますか知らぬ事とは申し乍ら御出迎ひも致さず　長「コレ清左衛門、源右衛門が所刑に付き不審な事がある、依つて予が止めいたしたコリヤ危急の場合の所置であるぞ　清「ハ、ツ　長「其方の日頃の行、甚だ面白からざる事を耳にいたした、何は兎もあれ今日の所刑は中止いたせ　清「恐れ乍ら是は國法にござりますれば　長「默れッ國法を盾に私憤を晴らすとは何事だ予が命じじや中止致せ　清「ハッ　長「早々案内いたせ」と清左衛門の宅へ案内をさせましたが此の結末は如何なりますか。

京都 たまや出張店 永樂町一丁目 電話一一九六 呉服

花柳病 皮膚病 須古醫院 京城府明治町二ノ三二(元賀茶會社跡) 電話二一〇二番

三星 七月十一日 舊五月廿三日甲寅 本命四綠 [illegible]

△四綠● 無理な依頼を受んとす 新事見合北方は吉時剣難△五黄● 骨折損の事ある日 新事手控ゆ [illegible] 口論難は妨なし△六白● 平凡の日午前不印午後は吉常、事は吉△七赤● 不調法の事ある日 新事手控ゆ [illegible] 萬事時に任せらるべし△八白● 人に偽を計て損となる事ある日注意 新事手控ゆ [illegible] 土工は妨なし△九紫● 貸を得る日 移居入門求職 [illegible] △一白● [illegible] △二黑● 無駄骨に終る事ある日 新事手控 [illegible] △三碧● 好事 [illegible] 節句吉

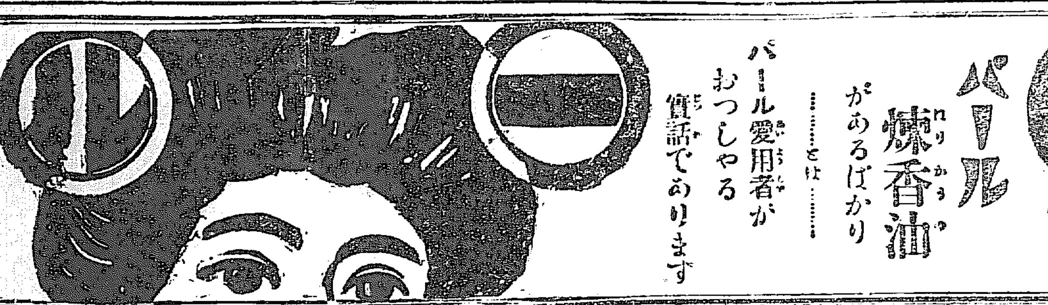
流經新藥 レスノリン
月經
閉止四五ケ月以内におけるものは本品の流經作用は確實にして容易く應用の目的を達し其効果他藥に優越す 藥價一瓶[illegible] 內地十二錢海外卅錢切手 [illegible]
發行所 常盤藥院 大阪北區曾根崎上一丁目三六地 振替大阪[illegible]

わきが
にて今迄彼是と他の藥を用ひ効なき方は特効藥ファーザーを御用ひあれ 藥價六十錢一圓 京城黄金町三丁目 山田文殊堂藥房 電話二九四九

商標 無臭ヨードホルム膏
梅毒下疳横痃切疵腫物痔疾等の良藥 本舖大阪東區瓦町 中井馬鑑製 定價五錢 拾錢

富の道しるべ 山縣五十雄 村上卯吉共著 價十五錢 郵稅二錢 京城太平通 振替一二〇番 京城日報社代理部

髪をしなやかに 丈長がく 美しく房々と 黒く漆のやうにするは 廣い世界に「タッター一つ」
パール 煉香油があるばかり
……とは……
パール愛用者がおつしゃる實話であります



本舖 東京 平尾銑也商店
關西代理店 大阪 平尾贊平支店

お化粧の仕方
高尚で美しい
お化粧の順序
クラブ洗粉 クラブゼリー クラブ白粉 牡丹はけ 水はけ ぬれタオル クラブ頰紅 クラブ粉白粉 美人
美人にある近道は
(第一に) 舶來石鹼よりも遙かに有効な日本名物クラブ洗粉で能く顔を洗ふ。
(第二に) 皮膚の美を養ふクラブ美身ゼリーを襟から顔へかけて塗る。若し荒れ性の方ならば一番よくきくアレ止め兼用の美身料クラブ美身クリームを代りに用ひ、能く擦込んでから蒸タオルで拭取る。
(第三に) 一番高尚で美しい艶の出る
クラブ白粉
を掌に取り、指先で能く煉つて附け(襟は顔よりも少し濃く)、牡丹刷毛で白粉を延ばし水刷毛で均らし、濡タオルで抑へて白粉を落付かせる。
(第四に) お顔にホンノリ櫻色の健康色を添へるクラブ頰紅を目の下から頰へかけて薄く刷く。
(第五に) お化粧を一層引立てるクラブ粉白粉をセーム皮につけて顔に薄く打ち、襟はポットに粉白粉を含ませて刷いた上をセーム皮で輕く打ちます、高尚で美しい淑女式のお化粧が出來上るのでございます。

淋病新藥 ツヨール
下山藥學博士、慶松藥學博士、朝比奈藥學博士、岩川醫學博士驗定 笹川醫學士、加藤獨國醫學士、山田獨國醫學士證明、田中醫學博士實驗の結果理想的内服治淋劑と確定せる
◎到處藥舖に販賣 發賣元東京 ツヨール商會 全國一手販賣 大阪道修町三丁目 田邊五兵衛
△本品は殺菌力を有し且絕對に胃腸を害せず △膀胱カタル、尿道炎、睾丸炎、腎臟炎、消渴等其他一般急性慢性淋病に偉効を奏す 卅粒入五十五錢、五十粒入九十錢、百粒入壹圓六十錢 △說明書無料贈呈す

鎮痛藥 ホシコロダイン 定價10.20.
△胃痛△腸痛 △中暑△眩暈 △食傷△吐瀉
東京市日本橋區呉服町三 星製藥株式會社 各地特約店及藥店にあり
特約店 京城府太平通二丁目三〇五 キムラ藥房

大日本優等清酒 ハクツル 品質純良 衛生無害

釀造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社
發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通) 酒井婦人病院 院長 酒井一郎 電話二六〇番 一八〇番 入院隨意

京城日報

第三版

下關與米特電（[illegible]）

大阪株式　電

九日前場　銘柄 [illegible]

大阪商船	一三三六、九〇
日本郵船	三七七、[illegible]〇
同新株	二九七、[illegible]〇
堂島米株	一九六、六〇
東京株式	二六二、五〇
大阪株式	三三八、五〇

[illegible]

依然强硬

後場　九日の九月
寄付　[illegible]
止め　[illegible]

七月限　一六千九百五十石
八月限　三萬五千五十石
九月限　二萬五千二百五十石

支那商工業の變遷（三三）

今關天彭

十九、清代の商業（其四）

頭を轉じて金融機關を一瞥する。支那人が西洋人のバンクに倣つて立てた銀行は、北京の中國銀行（大清銀行改）上海の中國通商銀行、四川の濬川銀行、杭州の浙江鐵路公司興業銀行、交通部の設立に係る交通銀行（上海）四明商業儲蓄銀行（上海）等がその重なるものであるが、この外に支那特有の發達を遂げたる銀號、票號がある。これ等は銀行に比べると規模は小さいけれど、機關は十分に備つて居て、要點も銀行と大差はない。その尤も著名なのは銀號に源豐潤、義善源があり、票號に蔚長厚、日升昌がある。また銀號には官銀號があつて、官府の金を出納し、商家を以て承辦させたので、即ち戸部官銀號、浙江官銀號、直隷官銀號、[illegible]海關官銀號等である。さて信用上の勢力は、銀號よりも票號が強い。票號は山西の商人が多く、資本豐富で機關具備し、全國に支店があつて、しかも淸初以前から始まつてあるので、いかにも熟練である。これは支那金融界の特色である。

また錢莊といふものがあつて、市場に大關係を持つて居る。その大きなものは數十萬の資本を擁し、盛んに各商店に借出しするので、實際上、前記三種のものよりも重要であるから、各省の富豪は、多くこれを設けて居る。

この外に鑪房、當舖、公估局といふのがある。鑪房は元寶の鑄造所でその鑄造法は、銀塊化成し、形狀一樣でないが、大別して三種とする。（一）元寶、普通五十兩內外（二）中錠、普通十兩內外（三）小錁、普通五兩內外、或は一兩。この業は、北京では二十六戸に限つて許されて居るが、他の各省では、自由に營業が出來るのである。當舖といふのは質業で、大きいのを當舖、小さいのを押舖と呼ぶ。當舖の質入期限は普通十六ケ月、利息は月二分、押舖は普通六ケ月、利息は月二分、或は二分以上であるが、この二つの質屋の共同規則は票を認めて人を認めないところにある。公估局は、各種の化成銀に就いて、その質と量とを證明し、鑑定の後に印を押して、さて流通するのである。銀も公估局の手を經ねばならぬ。

また度量衡にも一言を費したい。度量衡は歴代[illegible]を逐いて來たのであるが、沿革もこゝには細かに述べず[illegible]を注ぎ、しば〱修正を試みたらしい。しかし何分にも廣大なる土地であるから、各省に各省の習慣があつて、到底畫一は出來ぬ、何でも八十四五種あるさうだ。

（一）尺。元は黍を横にして分寸の率とした。即ち一粒の黍を一分とし十粒の黍を一寸とした。これは横黍尺といつて古尺である。今尺は縦黍尺で一粒の黍を直にしたのを一分とし、十粒の黍を一寸とするので、工部營造尺とは即ちそれで、各省商民の準據すべきものである。その一尺は英尺一尺零一分七釐三毫二忽餘に當る。また各國の通商には、海關尺を用ふることゝなつて居る。

（二）升斗斛。元は寸法で容積の率を定めた。即ち升は方積卅一寸六百分、斗は方積三百一十六寸、斛は方積一千五百八十寸、兩斛を石とす。容積三千一百六十寸。されど各省はこの規則に合はぬ。北部の一升は南部の一升に三倍するさうである。

（三）秤及び平。貨物には大抵秤を用ひ、金銀には平を用ふる。舊制は寸法を以て輕重の率を定めたが、各省の商業地では任意である。秤に二種がある。一つは秤の端に鈎があつて大秤、小秤に分れる。これは買入に用ひられるもの。一つは秤の端に盤がある、これは賣出に用ひられるもの。各國との通商には洋例秤を用ふるのである。平は天平で、兩端に銀の盤があり、中央に横杆があつてその横杆を竪てるのだ。平は庫平が宜しいが、しかも各省とも多少の相違があるやうだ。また九九平、九八平、九七平、九六平等あるが、各國の通商には、海關平を用ふることゝなつて居る。

夏の金剛山

丸山晩霞

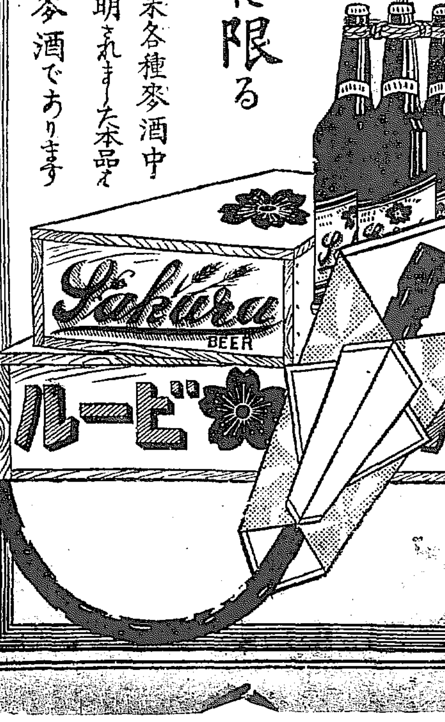
（八）毘盧峰○○○　金剛の萬二千峰の主峰として、古人がこの大觀を形容したといふ記錄に曰く、峰長一尺可摩天○石○○○○　千年鶴到地○　これは高大に失してゐるが海拔六千餘尺の頂巓に立つて、金剛の諸峰を瞰下すべく、こゝに登攀の準備をすると、摩訶衍の僧等は中止の可なる事を勸告した、其理由は近來重石の盜掘者が三四十人も這入り込んでゐて、內地人と見れば追助のお役人と見て、投石又は山頂より石を轉じ、その他種々の危害を加へられた、斯ういふ次第で頗る危險であるとの事。金剛の探險として屢々出かけて來て毘盧の頂も踏めないといふ事は殘る遺憾である。さらば鮮人に變裝して毘盧に入らんと、山僧のツルマキを洋服の上に纏ふた、誰が見ても鮮人である。幸にも案内者として雇ふた男は大兵の若者で山賊に備ふる[illegible]は少しもなかつた。吾等二人四仙橋の手前より左折し、樹木の繁茂せる一溪に沿ふて進む、この溪は毘盧の渓谷より流れ下る水の集合せるもので、漸く進めば原風を建てたる如き斷崕行く手を遮つてゐる、それを迂回すれば劍を逆植した様な險峯が見ゆる。これを目標として新々たる溪谷を踏破すると、恐怖すべき山賊の群があちらこちらで重石を採掘する音が聞ゆる、行く手に當りて煙も見ゆる、吾等はこゝを外づして他に進む可き徑がないのである、漸く進むと色黑き惡相の男が三四人、谷の流に鑛物を精練してゐるものに會した、彼等に一笞も與へずこゝを過ぐると。穴居に等しい小舍が二三あつた、吾等は山の中腹又は谷の入口等に採掘してゐる彼等の依斷となつた、が幸にして何等の害も加へなかつた。虎口をのがれてこれから、大盧を衝いて横はる紺色の絕壁を攀ぢて頂巓に達した。時は初夏の若葉に杜鵑が啼いてゐるのに、こゝはまだ早春で、殘雪の間から現はれてゐる石楠の蕾は、僅に花に紅を點じた程であつた。

毘盧峯　[illegible]

誰（7）

布施生譯

令孃は保部氏の姪で此家の世話になつてゐる柔孃であつた。聲に驚いて鈴富は頭垂れてゐた頭を上げると、思懸けない柔孃が立つてゐるので、悸乎として一寸跟いたが、吾知らず『柔さん』と聲が出ると、二足三足踏跟と歩寄つて手を差伸した。孃は颯と顔を染めて少し迷ふた姿であつたが、心の底に潜んだ情はどうする事も出來ぬと見ね、思はず自分の方からも手を伸して茲に二人は手に手を取つたまゝ向合つて立つ事になつた。二人共胸には萬緒の思ひを湛へながら、眼と眼を見合はすのを憚るやうに、暫時は俯向いてゐたが、それも長くは續かなかつた。柔孃は聞ゆるか聞ゆぬ程の小聲で『昌さんとう〱』夢を破られたやうに鈴富は今迄握緊めてゐた孃の手を突離して『昌さん？、うむ昌ですよ、其昌が今は無實の罪で警察に引張つて往かれるの幼友達の昌ですよ、貴孃。叔父樣の手で監獄に打込まれるのです』『何と仰有るの』孃は驚いて眼を瞠つた『貴孃まだ知らないのか、叔母樣からも誰からも何も聞かないのか』『何も存じませんわ、私ね今朝は叔母樣のお工合が何だか心配なのよ、それで叔父樣にお知らせに來ましたの、そうすると貴方が居らしたものですから』と一寸含羞んだが、聽て詞を改めて『ねえ、一體どうなすつたと言ふのよ、言つて聞かして頂戴な、ねえ、貴方』『うむ、否言ひますまい、言へば貴孃につまらない心配をかけるばかりだから』『あんな事、心配をかけたつてよくは無くつてね、可いから是非聞かして頂戴』『いや言ひません。貴孃は早く還りなさい』そう云つて心強く孃を押出しながら戸口を締と閉切つて仕舞つた。此樣子を阪探偵は隣室から一つも見免さずに見てしまつたのであつた。



御贈答品は
サクラビールに限る
大阪市立衛生試驗所で行われました分析の結果各種麥酒中
夏季飲料として最も優良なる事を證明されました本品は
中元御贈答用として亦最も適當なる麥酒であります

滑稽記事滿載　ふくぱんへそちや號　噴飯臍茶

日本一

代當の滑稽家　三宅雪嶺
▼人生遠く… 大隈侯爵
▼酒に可ゆ … 加藤[illegible]
▼無暗に… 高島米峰

頓智論　新渡戶博士
▼意外錄 … 和田垣博士
▼日本新斷篇 … 福本日南

八拾年　大隈侯爵
青淵自傳　澁澤男爵
（大隈伯の二十年後の人とその叙傳）

噴飯錄　巖谷小波
▼小唄供養 … 小杉天外
▼大阪陣 … 福本日南
▼踏舞の千代さん（戲文） … 大倉桃郎
▼お遊い男 … 海賀變哲
▼運の … 佐々木邦

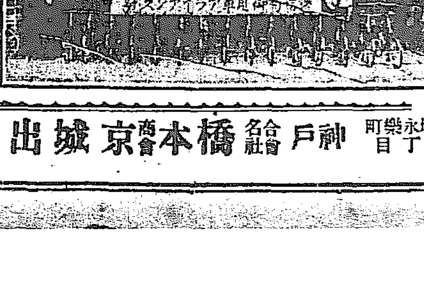
喜劇　剽盜（帝國劇場七月興行上演臺本） … 松居松葉
振袖火事（日本一鏡） … 小金井蘆洲

定價貳拾錢　郵税二錢　特別定價 [illegible]　小年　東京牛込　南北社　振替東京四九番

最新　國語漢文講義録
新學期　國漢文學の神髄を極め才藻の修養を專らとする男女は速に入會せよ
講師は一流博士學士文學者
入會者は特典あり　會則無料懇切
見本代二錢　會則進呈
東京小石川大塚仲町　大日本國漢文學會

アライアンス號の光榮

◎千言萬語は一の事實に如かず!!
◎アライアンス號は今回乘用輕便なる遞信局より御買上の光榮を賜はる
◎構造の卓越せるを立證せり
◎良車は克く多年の乘用に堪ゆ!!
堅牢輕快！一瞬千里の概ある
アライアンス號は眞に乘用者の嗜好を滿たし得る



京城永樂町二丁目　神戶　合名會社　橋本商會　京城出張所　電話一五七九番　振替京城一七四番

七月二日より
中元御贈答品賣出
京城　三越呉服店

御手輕にして重寶なる
（越）の商品券
東京、大阪、大連、京城の各店共通
壹圓以上何程にても發行仕候

第卅九回特別帝國議會

貴族院（九日）

▲請願各分科會　貴族院にては九日午前請願各分科會を開會せり（東京特電）

衆議院（九日）

▲各特別委員會　衆議院にては九日阿片法中改正法律案、銃砲火藥類取締法中改正法律案、工業所有權戰時法案の各特別委員會及び請願委員會、決算委員會を開きたり（東京特電）

△憲政會質問書　憲政會は九日後藤内相の伊勢太廟に於ける不謹愼事件に關する質問書を衆議院に提出したり（東京特電）

動亂の支那

▲復辟取消愈々決定

八日宮中に於ける皇族會議にて徐世昌氏の來京を待ち正式に復辟を取消す事に決せり（北京特電）

▲臨時内閣組織計畫

段祺瑞氏は天津にて臨時内閣組織に就き計畫中なり（天津特電）

▲三氏辭職許可上諭

八日午後五時張勳、雷震春、張鎭芳の三氏に對し辭職裁可の上諭出でたり（北京特電）

▲段祺瑞安寧保障

段祺瑞氏は八日王士珍氏に對し清室の安寧北京の治亂公使館の安全を保障したり（北京特電）

▲伍廷芳各公使へ通電

伍廷芳氏は上海より在外支那公使に電報を發して曰く『支那全國民復辟に反對なり余は上海にて外交總長として其任に膺りつゝあり北京外交團に對しては外務尚書梁敦彥氏を認めざる事を要求せり』（上海特電）

▲各省廳殆んど空虛の態

張勳氏の兵は北京天壇に集中されつゝあり尚各省廳殆んど空虛の有樣にて官吏は事務を執らず又任命を拒み居れり（北京特電）

▲馮麟閣張督軍に哀訴す

北京に在る馮麟閣氏は張勳氏失脚の爲め非常の窮地に陷り屢々窮狀を張奉天督軍に哀訴し來るより張督軍は速に歸來せよと電告せり（奉天特電）

▲爆彈投下と死傷者

既電の如く六日朝飛行機より投下したる爆彈は宮城内勸政殿に落下し卽死者一名を出せり又他の一彈は中和殿に落下し之れ又負傷者を出せり（北京特電）

▲豐臺へ爆彈投下

七日朝攻擊軍飛行機は張勳軍の退却せる豐臺に對し爆彈を投下せるが損害は輕微なり又同時刻に豐臺方面に砲聲を聞けるが張勳は同處にて防戰すべし（北京特電）

復辟の血祭り

[illegible]中の五色旗の影は全く沒し◇滿城黄龍旗の[illegible]（四）道路は遮斷され歩軍統領の軍隊によりて警戒された、そして此の滿城の黄龍旗の中に只總統府の星旗のみは[illegible]限の感に打たれた此多數の黄龍旗は張勳入京と共に前門外廊房頭條の[illegible]◇復辟を喜んだのは滿洲旗人であるが殊に婦人等は[illegible]嬉ったに違ひない、同時に此の婦人の仲間には不思議な[illegible]の仲間のみであ[illegible]ら不思議である　その復辟の翌晩、傅倫貝子が復辟に反對したので宮殿内で[illegible]を憎まれて居るから復辟の血祭りとなつたのである、今日[illegible]有名以下文武大官が[illegible]吾をして重ねて天日を仰ぐの思あらしむと人々喜悦に入れどの話である（北京特電）

◎中田侍從武官渡滿

侍從武官中田鐵五郎氏は青島駐劄軍慰問の爲め九日門司發榮北丸にて同地に向へり（門司特電）

◎復辟と大連

北京の復辟一件は實に迅雷疾風的に行はれ旅順にある肅親王の許にすら何等の豫報なかりし有樣なるを以て他の方面は推して知るべし滿洲は實に清朝發祥の地とて復辟の報に接するや一部驚喜せし者ありしも今回の復辟は餘りに唐突なりし爲め其後何となく疑惑を抱き前途の成行を憂慮せる模樣にて自然去就に迷ひ居る者も尠なからず當方にありては經濟上の打擊を受け特產物の大豆及び豆粕類は暴落せしも高粱は食糧品として聊か強氣を催ほし銀は軍資金見越しにて買もの現はれ三日百二十一圓（金對銀相場）なりしもの五日は百二十三圓卽ち百圓に付二圓の昂騰を示したり（大連）

◎地價漸騰す

米價の騰貴持續せると内地筋の鮮内土地買收者續出するため近時朝鮮の地價は全體を通じ底値當時に比し二三割方の騰貴を示し居れり但し西鮮方面は其の呼び聲のみにて實際の取引は多からざるに似たれど南鮮殊に慶尙全羅道方面は賣買少なからざる模樣なりと

◎東拓貸出近況

東洋拓殖會社に於ける金融部貸出現況を聞くに最近若干增加の傾向を呈し約六百四十萬圓内外に及び農工債券の引受高は三百萬圓にして合計九百四十萬圓なるが目下抵當權の設定に手續き中のもの少なからず今後漸增すべし

◎鮮鐵荷動狀況

六月下旬に於ける鮮鐵の荷動狀態を見るに發送噸數五萬千四百四十五噸收入十六萬二千七百六十圓にして前年同期に比し數量に於て二萬八百六十一噸（一割六分）收入に於て五萬九千八百七十四圓（五割八分）の增加を示せり主要貨物の出荷概況左の如し

▲石炭　前年に比し二千三百四十三噸の減少を示せるも前旬に比すれば七百五十噸の減少に留れり此は本旬二十三日は夜房端の午節句に相當し人夫休業せしため同日平壤鑛業所の出炭皆無なりしと内地炭の移入少かりし等の關係あるに因るものなり主なる發地別數量を擧ぐれば平壤鑛業所發無煙炭三千八百七十一噸同煉炭九十六噸安東發撫順炭三千六百四十三噸新安州發安州炭三百二十六噸仁川發内地炭二百八十六噸等とす

▲木材　荷動益々活況を呈し前旬に比し八百四十五噸を增し六千九百十五噸を出荷せり就中新義州發三千百九十三噸安東發七百三十四噸の鴨綠江材最も多く次は白馬發松丸太四百六十四噸及び餅店發三百十九噸等とす

▲米　米價は依然强保合にて商況に變化なく出荷狀況前旬に比し大差なし引續き釜山著最も殷盛にして千三百五十七噸を算し次は元山著四百八十三噸にして南大門著三百四十三噸之に亞ぐ而して一時杜絕の姿なりし鎭國軍需米の輸出は本旬の央より新に輸送開始され鎭南浦より元山經由三百噸群山より釜山經由二百八十七噸の大口輸送を見たり

▲豆粕　前旬に比し四百七十八噸を減ぜるも尙二千五百四十一噸を出荷せり内、内地直航移出[illegible]（七十三車）釜山打切扱七百[illegible]（二十七車）の割合也

▲鹽　前旬に比し元山行が約半減したるため總數に於て千三百九十噸の減少を示せり然かも元山著は總數中六割九分を占め仁川發八百九十噸鎭南浦發四百八十七噸其他發三十八噸計千四百十五噸を算せり

▲鹽干魚　元山發西鮮の荷動依然旺盛にして千百二十五噸（總數の七割七分）を出荷せり主として京釜湖南沿線に仕向けらる

▲雜穀　前旬來荷動衰退に傾きしが本旬に入りては益々不況を呈し前旬に比し約半減したり此は主として相場の關係あるに因るべしと雖も本旬は雨天多く出荷[illegible]せしのありしかためなり次に滿洲粟の移入は引續き盛況を呈し總數八百九十一噸に達せり

▲大豆　梅雨季に入り海上風波强勢等の爲め[illegible]荷役[illegible]貨物の移出[illegible]前旬に比し[illegible]

▲黑鉛　本品は需用好況なると内地に於ける[illegible]の消費額增加せし等の爲め出荷盛況を呈し前年に比し四百九十五噸を增加せり[illegible]

◎兩道果樹被害

過般來平安南北兩道に於ける農作物に腐爛病發生し兩道に於ては直ちに之れが驅除及び豫防方法を講せしが殊に平安南道に於ては被害面積十七町五段歩に及び被害見積金合計三千八百七十八圓にして内苹果面積十六町一反金高二千九百七十五圓梨面積一町三反金高八百四十五圓櫻桃面積一反金高六十三圓餘の孰れも被害あり依つて當局にては被害甚だしき樹は栽培者をして掘取燒却せしめ其の他に對しては被害部分を削取り又は樹枝剪定の上枝幹に石灰乳を塗抹せしめ附近の果樹には豫防として「ボルドー」液又は石灰硫黄合劑を灌注せしめしが平安北道に於ても亦同じく腐爛病の爲め苹果面積三町八反五畝見積金高六千百五圓梨面積一町此の金額七百圓合計面積四町八反五畝金高六千八百五圓の被害あり卽ち其の程度深甚にして恢復の見込なきものは根元より伐採せしめ輕微なるものは被害部を削取り石灰乳を塗抹せしめたり

◎客月京城貿易

京城稅關出張所の調査に依れば京城府六月中に於ける貿易額は輸移出品價合計九萬七千四百九十六圓輸移入品價合計百五十二萬四百十五圓にして約百四十二萬二千餘圓の入超を示し之を前年同期に對比する時は輸移出品價計に於て二十一萬一千九百餘圓の減輸移入品價計に於て四十三萬五千五百餘圓の增を示し前月に對比すれば輸移出品價に於て九萬二千三百餘圓の減輸移入品價に於て十八萬百餘圓の減少を見たり而して前年同期に比して輸移出品價の著しく減少せしは前年同期に於て牛皮重石鑛其他諸品の著しく優勢なりし結果に負ふものにして殊に牛皮の如きは前年同期の六萬一千百九十五圓に對し本月一萬六千二十九圓を算するに過ぎざる有樣を呈せり又輸移入品側に於ては綿織絲三萬百五十九圓生金巾及び生シーチング九萬三千八百七十五圓晒金巾及び晒シーチング四萬三千六百九十三圓日本木綿五萬六百七十五圓等不相變優勢なるが米價の騰貴より滿洲粟の移入激增し前年同期に於ては之が移入無き前月に於て六萬二千二百三十二圓の移入ありしに對し本月は十一萬二千三百八十四圓卽ち前月に對比し五萬百五十二圓の增加を見し其他前月に比し綿織絲、晒金巾及び晒シーチング毛織物等の入減に對し生金巾及び生シーチング等の入增を示せるが稅關倉庫には已に冬物の入荷あり又滿洲方面へ移出さるべき毛織物其他綿布等倉庫は相當に賑はひ居れりと今六月中主なる輸移出入品目及び價格を擧ぐれば左の如し

▲輸出及移出品（圓）
- 大豆　四、五八三　醃[illegible]　五四〇
- 重石鑛　一八、四五〇　牛皮　一六、〇二九
- 穀[illegible]　一四、九五四　肥料　八、八四〇
- 其他諸品　三四、〇九四
- 合計九萬七千四百九十六圓

▲輸入及移入品（圓）
- 粟　一一二、三八四　小麥粉　一四、九一三
- 砂糖　二九、一六二　綿糸　三〇、一五九
- 生金巾及生シーチング　九三、八七五
- 晒金巾及晒シーチング　四三、六九三
- 日本木綿　五〇、六七五　毛織物　三四、〇九九
- 紙及服物　二三、五二五　洋紙　二〇、九九七
- 文具類　二六、五七五　諸機械類　二六、四一六
- 煙草　六三、五八五　牛乳及煉乳　三三、〇[illegible]
- 小包郵便物　一八六、九二五
- 合計　百五十二萬四百十五圓

▲前年同期主要輸移出品
- 牛皮　六一、一九五　煙草　一八、三三二
- 其他合計二十一萬一千九百五十七圓

▲同　輸移入品
- 小麥粉　六、九六三　砂糖　一九、三七四
- 綿織糸　二六、五二七
- 生金巾及生シーチング　七一、四五七
- 晒金巾及晒シーチング　三三、二五六
- 日本木綿　二三、一九二　毛織物　二三、九四三
- 紙及服物　一七、一九二　洋紙　一六、六〇〇
- 文具類　一五、四二九　煙草　三四、六五三
- 小包郵便物　二九、一二一
- 其他合計百八萬五千二百九十八圓

◎春繭共同販賣（第五日）

京畿道產春繭共同販賣は引續き去る七日其の第五日を豫定の通り安城郡及楊平郡に開催せるが安城郡にては單價（一石當）特等八十六圓一等七十九圓五十錢二等七十四圓五十錢三等六十九圓五十錢四等五十四圓五十錢等外四十一圓二十錢の價格を以て取引せられ此の總石數三十六石を算せり又楊平郡に於ては特等品一石八十四圓八十錢一等七十七圓六十五錢二等七十五圓三等七十三圓五十錢四等六十三圓十五錢等外四十五圓六十五錢の單價にて賣買せられ取引總石數五十石に達せし由因に九日は楊州郡に共同販賣を擧行せし筈

◎軍司令官日程

駐劄軍司令官秋山好古大將は北鮮部隊檢閲巡視及び地理實査の爲め參謀松井少佐同大塚大尉千輪副官高橋大尉伊藤主計を隨へ九日午前九時四十三分龍山驛出發北行せるが日程左の如し
▲九日午後四時四十五分元山著▲十日午前永興[illegible]▲十一日[illegible]▲十四日[illegible]▲十五日[illegible]▲十七日[illegible]▲十八日[illegible]▲十九日[illegible]▲二十日[illegible]▲二十一日[illegible]▲二十二日[illegible]▲二十三日[illegible]▲二十五日[illegible]▲二十七日午前九時元山發▲同午後四時四十五分龍山著[illegible]

◎畜產組合新設

朝鮮重要物產たる牛の生產買賣及び其の仲介を其の事業とする畜產業組合の最近其筋より認可せられたるもの左の如し
[illegible]

◎標柱建設場所

既報の如く京城府に於ては先に京城街路施設整理委員會にて京城街路に右側通行の表示標柱建設を決議せるが右標柱は地上約三尺臺三寸にして三角形にして標柱は場所に由り四角又は三角形にして白ペンキ塗とする由にて建設場所は南大門停車場前一本、南大門通り太平通りよりの交叉點に一本、本町通り西鑑便局前一本、東大門通り南大門通り黄金町通り十字路に一本、黄金町十字路一本、東大門交番所前一本、十字路東病院通十字路東大門通西州通郵便局前一本を建設する事に決定せる由

◎獎勵種子下附狀況

大正五年春期獎勵用として京畿道管内に下附せる種子はクヌギ十石二升四合クリ四石二升にして其苗數に依り成績を徴するにクヌギに於ては開城郡最優良にして富川廣州江華之に亞ぎ最不良なるは高陽金浦の兩郡とし クリは加平を第一とし始興安城龍仁之に亞ぎ最不成績なるは楊州驪州の二郡なりといふ

◎軍經理部長動靜

軍經理部長廣瀨主計監は六日馬山發大邱へ赴き七、八、九の三日間大邱各隊經理狀況を檢查し十日大邱出發慶州へ出發の豫定なるが過日の豪雨にて道路破壞せられたる箇所多く交通杜絕の姿なるにより或は湖南地方を先にし全州光州晉州等の順序に豫定を變更するやも計られずとのことなり

◎太田秀穗氏榮轉

京城女子高等普通學校長太田秀穗氏は此度佐賀市男子師範學校長に榮轉することに内定し一兩日中に發表せらるゝ由なるが發表の上は本月中旬頃までには京城を引拂ひ佐賀市に赴任すべしと

◎朝郵の記者團招待

朝鮮郵船會社にては九日午後七時より京城記者團を花月に招待し張宴せり

◎教育視察團來期

先般來滿洲方面視察中なりし東京府荏原郡教育視察團は六日入京の豫定なりしも都合に因り延期せしが愈々來る十一日午後七時半南大門驛著列車にて入京の筈

◎太田氏送別會

今回佐賀市師範學校長に榮轉せる京城女子高等普通學校長太田秀穗氏の爲め關係學務局長、谷府尹其他學校關係者發起となり來る十二日午後六時半より京城ホテルに於て送別會を催す事となり會費は二圓にて其内より記念品を贈呈すべく又若し記念品のみの贈呈希望者は五十錢以上にて希望者は十一日正午迄に總督府學務課内山路誠迄申出でられ度しと

風言北言

▲某支那通に伺ふと張勳兵は思つたよりも弱い樣ですね　もう少しはやるのだらうと思つたが作戰を誤つたらしいね▲段祺瑞は全く張勳と云ふと▲ソ、併し今度は多少兵法を解して居る▲先づ天津を出發して途中馬廠に李長泰を訪ひ同時に曹錕と計を共にして北京扶[illegible]の作戰を立てたのは好かつた▲張勳は之れに對して何故敵の機先を制して一擧保定を扱かなかつたか▲保定は袁世凱が萬一の變に備ふる爲め天下の武器彈藥を集中せる地である▲張勳が保定城に占據すれば段祺瑞の作戰は遂に失敗たらざるを得ない▲若しさへも遲に瞭ずべからずだ▲必ずや段は濟南に走り山東督軍張懷芝と協議し更に南下して南京に逃き▲馮國璋と語らひ王占元李純の兵を合せて漢陽及び武昌を策源地として▲逝に保定と對峙して京漢鐵道の沿線で雌雄を決する事になるのであつたであらう▲然るに張勳の作戰は事玆に出でず直に天津方面に出て雌雄を一機に決せんとしたのは大なる誤である▲先づ保定を占領し天下に號令して復辟實現の勢力を示したら洞ケ峠の連中も張勳に味方するものが多かつたであらう▲殊に王士珍と段祺瑞とが堅く結んで居る事に氣の付かなかつたのは大失策だ▲要するに段祺瑞の勝利は何時も機先を制したからである▲今度の支那の騷動を一番趣味を以て見て居るのは福島大將だらう▲將軍が手塩にかけて教育した支那學生は鳥渡二千名ある▲而して其の大部分は支那當面の人物として各方面に活躍して居る▲勿論其の中には帝制派もあれば共和派もある復辟派もある繼續なども數へられた一人だ相だ▲で將軍は小供の喧嘩を見て居る樣に喜んだり妙な顔をしたりして居るとか▲張勳復辟の飛報を見た時などはケロリと病氣も癒つて書齋に居直りニヤリニヤリ

廣告

ばりかん　金一圓廿錢送料共　實用に適せすば返金　京城太平通二丁目　東亞藥報社　振替京城三八五

十箇下賴　植木鉢新荷著　京城太平町二丁目　山本商店

強いて安い　タイヤ壹圓九十錢　チユーブ同八十五錢　耐力五千哩以上保險附　其の他上中下種々有之候　カタログ呈　大阪市西區北堀江御池通六丁目二七　大阪ゴム製造所　電話西一九一二　振替大阪二七一四番　小包送料實費申受

京日案内

[illegible]　京城黄金町[illegible]　269

牛乳配達入用　身元保證ある者　京城北米倉町　電話一二五四　乳舍　267

洋服裁縫職人入用　京城南大門外　稅關向　京城堂洋服店

一、綿外交員敷名募集　一、携帶品[illegible]　京城花園町　新報鮮支社　265

朝鮮ホテル隣　黄金町一ノ一九三　金融部　266

古オルガン　ピヤノ　大注文　京城本町二　ウッポヤ　電二五二七　213

市内不動產擔保低利金融　京城明治町二丁目六十三番地（月本商店前入）　山田　184

椅子卓子陳列戸棚書棚製造並に修繕　新古　黄金町二丁目　電話二四二一　室商店　264

金庫大釜樂器　洋和　姿鏡

藥劑師至急入用　給料は高くとも安くとも　井町二ノ一〇九　荒川忠　262

百萬圓　定價四圓　強富社發行　利殖法　特價壹圓　京城部岩七四條　268

女辯士見習入用　希望の者は來談あれ　黄金館　261

恩給年金長期　勸業債券（五分利）額面以上特別高價　買受　即時立替　京城若草町白六番地　西村商會　154

はねつき　一切の治療御依賴に應ず　うちみ　くじき　明治町　柔術道場　206

店員入用　年齡廿歲前後身元保證　新龍山電車終點前　龜屋雜貨店　253

老舗讓渡　京城市内目抜の場所にて飮食店の老舗讓渡　至急讓り渡し度し　243

礦物定量分析　太平町二丁目　電話長二三四四　坂元分析所　254

業務擴張の爲め左記の所へ移轉仕候　本町三ノ九　元中村醫院の跡　電話三二六　產婆濱崎達子　257

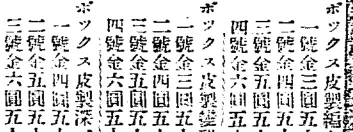
信用ある京東　日野製靴

ボックス皮製編上　一號金三圓五十錢　二號金四圓五十錢　三號金五圓五十錢　四號金六圓五十錢

ボックス皮製短靴　一號金三圓五十錢　二號金四圓五十錢　三號金五圓五十錢　四號金六圓五十錢

ボックス皮製深ゴム　一號金四圓五十錢　二號金五圓五十錢　三號金六圓五十錢　四號金七圓五十錢

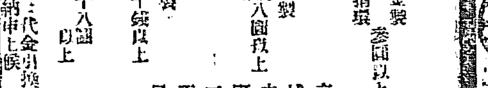
右は精撰せる材料と熟練せる技士とを以て入念に調製し一般實用紳士靴の種類に最も好適なり御注文の節は御足の寸法等詳細に御記入の上代金御送付被下度候御申越次第見本御送付申上候



東京京橋　日野製靴店

中元御贈答品の色々

十八金製　玉入指環　參圓以上



純金製　高彫指環　八圓以上

十八金製　六圓三十錢以上　根掛　純金製十八圓以上

地方御注文は代金引換小包便にて御差送申上候

京城本町二丁目　村木時計舖京城支店　電話四七一番　振替京城三一九〇番

最新刊

書名	著者	定價
ABC引日本辭典	井上博士	特二、三〇
改正手形法論	青木徹二	三、三〇
改訂增補外國爲替	水野重也	二、〇〇
農村社會學	小河原忠三郎	二、五〇
國民物理學	日下部四郎太	一、八〇
六法全書	有斐閣發行	特製一、八〇
債權各論	末弘嚴太郎	一、七〇
化學的食物研究	白鳥[illegible]	一、〇〇
日本温泉案内	宇野[illegible]	九〇
教育と圖書館	[illegible]	七五
歐米新思潮	[illegible]	一、五〇
南洋西ボルネオ	多田恵一	一、二〇
和歌講話	若山牧水	八〇
日蓮主義研究講話	本多日生	一、二〇
現代日本文章軌範	内山[illegible]	八五
カラーマゾフの兄弟	[illegible]	二、二〇
人生の快樂	吉田[illegible]	八〇
離合	[illegible]	一、二〇
野球年鑑	大阪朝日新聞	四〇
十五代將軍	[illegible]	一、二〇
新和洋季節くの料理	松尾[illegible]	一、〇〇

大阪屋號書店　京城本町一丁目

…は旗て用意したる數千の黄龍旗を各戸に配布し一枚六十錢で賣付け強制的に掲げしめたので半日も經たぬ…れ張つて到る一帶の道…斷された、又宮城の裏手…には大きな黄龍旗が交叉されて其前の神武門…

◆古旗が黄昏の空に 力なげに翻つて居つた、清朝滅亡の當時を追想し之を望んで誰れしも無…違ひない…近漏れなかつたとは同店の主人も天…野屋利兵衛の片腕位にはなれる男に…いから大清國皇帝が出たらと樂んで…見受けた氣ねて三日でも…であた…薬等は夢ら其夢ならざるかを…と云つてゐる、而も此の論旨が婦人には日本から皇帝が來て征服されるつた一人で

◆今から半年前…の政に關はつた民論を開始の場か…

◆清室よりは賣國奴 …服であつた、康有爲が島上は年齡幼沖な…頭此の如く明達誠見…卓絶す…吾…言…

◆財務主任測量實地講習班＝九日清涼里附近に於いて＝

◉六十名の金筋連が汗みどれて
府郡財務主任第二回測量講習會 必須の學術とて成績至つて良好

朝鮮全道府郡財務主任第二回測量講習會は講習期間一箇月を以て本月初めから土地調査局內に開催せられ第二回の講習生は江原、咸北兩道を除く他の全道府郡廳財務主任の內

六十四名にして 之れを五組に分ち實地調習の際は一組の講習生三名に對し講師一名宛付添ひ往十里、清涼里間に於て測量實地講習中であるが何にしても從來全く方面の違つた仕事許り爲て居つた財務主任さん達の事であるから習ふ方も敎へる方も骨の折れる事一と通りでない殊に今日此の頃の炎天に朝の七時から午後の五時半頃まで山や畑や水田の中を駈け廻るので夕方などは講習生さんたち疲勞し切てウン／＼呻り出すがそれでも若い學生なぞの夏期講習とは違つて

習ふ方が眞劍だ から成績は案外に良好であると云ふ事だ講習會は本月二日一同土地調査局內の講習會場に集合し局長から一場の訓示が有た財務主任は行政上主として地稅事務と地籍事務を統掌するものであるに拘らず從來此等の事務の根柢を爲すべき測量に關する智識が全道の府郡財務主任に缺けて居つた爲め事務上種々の支障を來して居たるを以て測量に關する

學術技術の修得 は直接財務監督者として必要缺くべからずと爲し全道府郡廳財務主任を三回に分ちて學術及び實地の講習を爲さしむる事となつた講習科目は最初に細部測量學次に機械使用及び點檢法、それが濟むと細部測量の實習、次に移動地測量法其の實習次ぎに製圖及び積算、地稅事務講話と云ふ風に學術と實地とを交互に講習して三十日に大體の

測量智識を終了 しやうと云ふのであるから一通りならぬ骨折りである谷技師が主任となり舟越、御厨、宮下、杉村、深澤、丸山、三木の諸氏が學術及び實地講師となつて引切りなしに攻めて居るので何れも好い親爺面をした講習生連は油汗に塗みれて引張り廻され何れも炎天乾しに海水浴帽子位では防ぎ切れず印度人も三舍を避ける位に色揚げが出來て居る講習生は技術と一緒に測夫までやるのだから

却々容易でない 馴れない仕事とて紅白旗を付けた標竿を擔いだまゝ深田に陷込んで旭將軍のやうに二進も三進もならぬ先生も居れば竹製卷尺に足を取られて溝の中に轉げ込むやら測斜照準儀を逆に覗いたりする先生も御座る、それでも前にも云つた通り各自に自分の職責上必須の學術であるので必死に成つて勉强するから其の進境はメキ／＼と上つて來る隨つて講師の人達も張合が付いて朝なんぞ

お互に競爭の樣 に早くから始めて此の暑中にも田の畦で辨當を掻込んで其の手ですぐ測量に取かゝると云ふ熱心さに初めは布製卷尺を餡麵麭と間違へて居つた先生なども僅か七八日の間に傍から見て居るとどれが講師でどれが講習生だか見分の付かぬ位に手際よくやつて居る

◉白米値上 又復俵に五匣引上ぐ

京城市中に於ける白米小賣値は九日より又復五匣引上げ一等米廿三錢二等米廿二錢五匣となれり原因は在米

◆稀代の沙翁劇役者ツリー
◆◆◆◆が遺した活動寫眞マクベス

いつでも破天荒の大寫眞を引いて唯さへ活氣に滿ちてゐる京城の活動寫眞界に風雲を捲き起す早川演藝部では今回又復名譽興行として世界的文藝寫眞の稱ある

沙翁傑作の戲曲 『マクベス』を取り寄せて來る十二、十三、十四の三日間晝夜二回有樂館に公演する事になつた、同寫眞には凄きに沈沒した巨船タイタニツクか何かと共に運命を共にしたサー、ヘンリー、アーヴキングと一緒に沙翁劇役者として全

世界に並稱され たサー、ハーバート、ツリー（一週間程前に物故した）が、主人公たるマクベスに扮して部下の俳優と共に出演してゐる事である、沙翁の傑作マクベスにしてもハムレツトにしてもヴエニスの商人にしてもオセロにしてもリア王にしてもロミオとヂエリツトにしても此

二名優を除いて は之れを完全に演了する者が無かつたといつてもいゝ位であつたからアーヴキング非業の死を遂げツリー亦逝いた今日になつて見れば偶然ではあるが、ツリーのマクベスを活動寫眞に撮つておいたといふ事は沙翁劇に親しみを有つ者のために大へん幸ひであつたことを感謝しなければなるまい、そして此の

寫眞を寫すため には俳優の給金や種々の舞臺裝置やさまざまの設備費に二百萬圓の鉅費を投じたと言へば冗々しく說明を試むるまでも無く絕大な名寫眞である事も窺はれるであらう然して從來の入場料などを擴ぎ出す必要も無いやうだが倫敦で最低三磅（約三十圓）紐育で十弗（約二十圓）の入場料を取り

本年の春帝劇で 五圓の入場料で公開して大入滿員續きであつたといふのから推しても凡俗の寫眞でないといふ事が知れようと思ふ更に又此の寫眞は多く原作に隨がつて忠實に出來てゐるといふから面白い事であらう唯いつも無くもがなと思はれる

辯士の說明の爲 に折角の興味を裏切られる事があるが今度は東京の小林商會から辯士長の黑澤松聲が附て來るといふからその心配もあるまい、先達て好評を博した『カビリア』が餘りに神秘的だつたのに反して『マクベス』は從來日本に於いて度々上演されて比較的多くの

人々に膾炙され たものであるし、劇の筋が平明であるから一般に理解され易いから開演すれば多くの人を喜ばす事の出來る寫眞である事を信ずる

◉狂人入江三郎捕はる、

既電の如く九日午前二時逃走せし狂人入江三郎は同日午後四時三十分頃播州明石郡押部谷にて明石警察署の手に捕はれたり（大阪特電）

◉赤痢軍隊を襲ふ

元山大隊に於ては赤痢續出するに鑑み時節柄嚴重なる警戒を怠らず客月二十四日より一般兵士の外出を禁止すると共に外來者の健康診斷を行ふ等種々怠りなかりしが去る六日に至り偶然第三中隊に下痢患者二名發生し經過頗る良好ならず遂に擬似赤痢と決定せるが翌日に至り又一名發生都合三名の擬似患者を發生せし由にて極力之れが蔓延防止策を施しつゝあり營門入口には天幕張の醫官の假詰所を設け出入者の健康診斷を嚴重に行ひ居れり（元山）

◉妻を壓殺す

京畿道龍仁郡蒲谷面郭貴學（三四）は八年前新婦なる女を妻として同棲し短氣なる爲め家庭圓滿ならず本年二月七日妻が命令に背きたりとて左手にて亂打し咽喉部を强壓して遂に死に至らしめたるより檢擧され此程京城地方法院の公判に附せらる

◉縛り上げて强奪

江原道伊川郡山內面花豊里金在元方會義鉉（二二）は大正三年二月二十三日同郡板橋面等與里を通行中なる咸南德源郡豊下面鳳凰里李學謙が牛代金六十九圓を携帶し居るを探知し同人に尾行し道案內すべしと山中に誘致し學謙の杖を强奪して亂打したる上松の木に縛りつけて重輕傷を負はせ九十一圓餘の現金を掠奪して逃亡したるものにて此程檢擧せられ京城地方法院の公判に附せられたり

◉庭球戰と野球戰
△鐵道軍又も全敗す

●庭球戰● 滿鮮庭球界の爭覇戰たる龍山鐵道倶樂部庭球部對京城庭球倶樂部第一回戰は昨八日午前十時より鐵道選手コートに於て開催せられたり此の日朝來一天限なく晴れて些の風塵を揚げず絕好のテニス日和とて定刻前既に觀衆はコートの四周に人山を築くの盛觀を呈せるが名にし負ふ今次の合戰は龍山軍に取り昨年來の全敗に顧み無理にも勝たさるべからざる…一方京城軍に在りては…優勝を維持して…仕合は劇…緊張の度を增し…南軍各二組宛…結果は左の如きスコーアを殘して又しても龍山軍の敗北京城三度び凱歌の曲譜を高唱したり

鐵道軍			京城軍
深崎 中川	三	○	曾田 永山
深崎 中川	二	三	河井 永野
大塚 六村	○	○三	河井 永野
中川 若泉	三	一	新深 三輪
◎中川 若泉	三	一	熊丸 立見
鎌田 若藤	三	一	松本 米田
篠田 齋藤	○	三	菊田 宮川
青木 大內	○	◎三	菊田 宮川
永田 香山	一	三	鈴木 島
矢野 內藤	三	○	鈴木 島
◎矢野 內藤	三	○	河井 永野

●野球戰● 朝鮮新聞社の招聘に應じ滿洲より來鮮すべき早大野球選手を迎へて…の京城軍及び龍山鐵道軍の野球戰は八日午後四時より鐵道側グランドにて開催觀客…スタンドに溢るゝの盛觀を呈せるが仕合は劈頭より京軍優勢に鐵道軍を壓迫し結局八對三のスコーアを殘して京城軍大捷せり

京城	中川 若泉	一	◎三菊田 宮川
	矢野 內藤	一	三 田 宮川

◇夏座敷の盆栽

盆栽は四季通じての趣味であるが、特に夏季青々と繁つた盆栽の一鉢を、座敷の中に飾ると自然に涼味が湧く、それで盆栽の嗜好は近年廢りがない

◇石榴と黄柏 である、丁度石榴は六七月が花時で、青い滴る樣な葉の中から緋鹿子の樣な八重咲などの咲いたのは、得も云はれぬ風情があるので近來は一色のものより一本の幹で白紅黄などの五色咲、又は紅白咲き分けの八重咲石榴などが

◇珍品として 愛せられる、又石榴は花許りでなく葉の落ち盡した後は冬林の趣が枝振に現はれて居るので、冬季室內の裝飾品として愛される從來盆栽の嗜好は多く人工を加へて枝振の曲りくねつたものに偏つたが、近來は一變して多く人工を加へぬ自然に雅趣ある姿を愛したもので一枚一葉の中に自つと…

此度復辟運動を決行して世人をアツと云はした張勳將軍と云へば誰れでも蠻骨の人無學無識一種の木强漢を聯想するだらう▲所が先生一概にさうは行かず清朝に忠烈なる武將たると共に見掛けに由らず大局に通じ交際に長じてゐるのみか學問文章にも仰々長じてゐて訪問者を驚かすとは全く以つて驚かされる▲張將軍が實際どれ程の學問をしたか抔と深い詮議立ては別として實際彼れに接した人の話に由ると彼と筆談して見れば行文中々流暢、而かも要領を得て居て彼れが頑冥不靈の老骨でない事が明白だとある▲殊に其の幕僚の如き辮髮を著けた舊人物のみでなく飛び切りの新人物をも網羅し軍事政治財政外交と其々秩序整然宛も小政府を組織してゐるかの感がある▲復辟運動の大立者と云ふので買ひ被る譯ではないが其の大事を處する從容自若如何にも衆の闘爲を受け樣が辮髮姿で大踏步する所彼れ亦舍糊模稜を事とする支那人中稀に見るの快男兒▲今回の復辟は失敗に終るかも知れぬが所信斷行の犧牲となり事破れて之に殉ずるは彼れの本懷だらう▲殊に彼れは王陽明學の崇拜者で良知の學に深造し彼れの傳習錄の如きは全部諳誦して一字も遺さないとの事、先年某氏が我國の陽明學派泰斗たる佐藤一齋及び大鹽後素の洗心洞志言志錄を贈つた所先生大悅で日本にも斯る陽明研究者があつたかと頻りに之を愛讀したとは心强い話▲彼れ張勳將軍が脫俗超凡去就進退の節を失はず所信を斷行して回避する所無きは陽明學に得る所蓋し多い譯だ……と

▣大正館 九日より全部新寫眞と差替ゐたりその主なるもの左の如し△南様第二西洋活劇聯報△猫と泥棒マベルの勇氣長編△大活劇非の子全四卷△新派悲劇稻葉太郎衞門

▣浪花館 頭取參、京山若圓一派の大阪親友派浪花節一行にて開演中

▣壽館 二代目桃中軒雲右衞門一行にて開演中其の讀物は左の如し▲義烈百傑（清雲）△玉郎正宗△關東長脇差（小辰正）▲御三家三勇士（柴丈）△傾城情話（文左衞門）△忠七兵衞景清花丸△南部坂雪の別れ、安兵衞江戸探り（雲右衞門）

▣稻荷座 浪花節竹川馬生一行にて九日より讀物左の如し△播川五郎藏（東洋雲右衞門）△玄海の浮袋（虎光）△加賀騷動（錦帝）△大功記、古代思臣錄（馬生）

▣御成座 新派劇當世劇團にて開演中

高貴藥配合 最新良劑 くだりどめ 淸腸（セイチヨー）
高橋盛大堂藥局試驗部創製
主治 ◉腸加答兒 ◉痢病 ◉霍亂 ◉疲療下痢 ◉飮食物不消化の泄瀉及び水傷り、寢冷、其他諸病より起る一切の下痢に用ひて大効あり
價 拾錢 貳拾錢 五拾錢 壹圓
本舖 大阪堂島元蜆橋 高橋盛大堂藥局
發賣 同 心齋橋筋博勞町 高橋盛大堂分店

花柳病專門 外科
◉梅毒◉淋病◉泌尿生殖器病 ◉睾丸病◉肛門病◉皮膚病 婦人病◉神經衰弱ヒステリー
京城南大門通農工銀行裏 司生堂醫院 電話三〇六五番

分析所開始 …本所の特色…
△設備の完成△ △技術の優秀△ △分析の正確迅速△
京城明治町二ノ三夫 電話一七七一
本町一丁目江戸川横入 田部分析所

美味滋養 高級食品 珍味 乃しいか
宮內省御買上品たる「乃しいか」は目下東京花柳界並に上流社會の家庭用として缺くべからざる佳品と愛せられつゝあり
東京淺草區瓦島町 工場長崎 電話一二二番
店舖 長崎屋 東京日本橋區てりふり町 電話浪花四七四八番 振替東京三二五一〇番 市場町一五 電話一六七四番

簿記募集 日本簿記專修學校 私立認可
大正六年新學期生徒募集 東京市芝區櫻川町十一番地

內科 小兒科 婦人科 眼科 一元堂醫院 京城南山町二ノ四六（三越分館前上）電話一壹二四番 小山亭

內科 小兒科 入院隨意 京城府龍山元町 紫野醫院 電話二〇四番

榮養ヲ增進シ 精力ヲ旺盛ニス グリコナール錠
本品ハ醫學博士佐伯矩先生ガ創製セル榮養劑ニシテ五〇%ノグリコゲーント蛋白脂肪、越幾斯分ノ適量ヲ含有ス
一般虛弱、心臟機能衰弱、胃腸病、結核其他慢性病者等濃厚滋養料ノ充足ヲ要スルモノニ對シ榮養ヲ增進シ精力ヲ增加ス 百錠金壹圓=各藥舖ニ在リ=說明書送呈ス
東京室町 三共株式會社

花筐 (五〇)

松田竹の島人作

大森の悪口突りの攻撃に、荒物屋の主人は、幾分か逆易したが、其儘閉口して、默つて了ふやうな男ではなかつた。

『別段南京蟲を飼つとく譯ぢやないから、其麼ことを言つたつて、私は知りませんや。』

『何麼飼つとく譯ぢやないつて……だつて貴樣は、南京虫を飼つときさうな面付を爲てるぢやないか。』

『下らない戯談は中止して貰ひませう。』

『第一貴樣は、南京虫に甜められたから、其麼に頭が禿げたんだろ。』

大森にかゝつては、有繋の荒物屋の主人も形なしであつた。

偶、荒物屋の女房が、梯子段の下から、

『ちよいとお前さん』と呼んだ主人は梯子段の方を向いて、

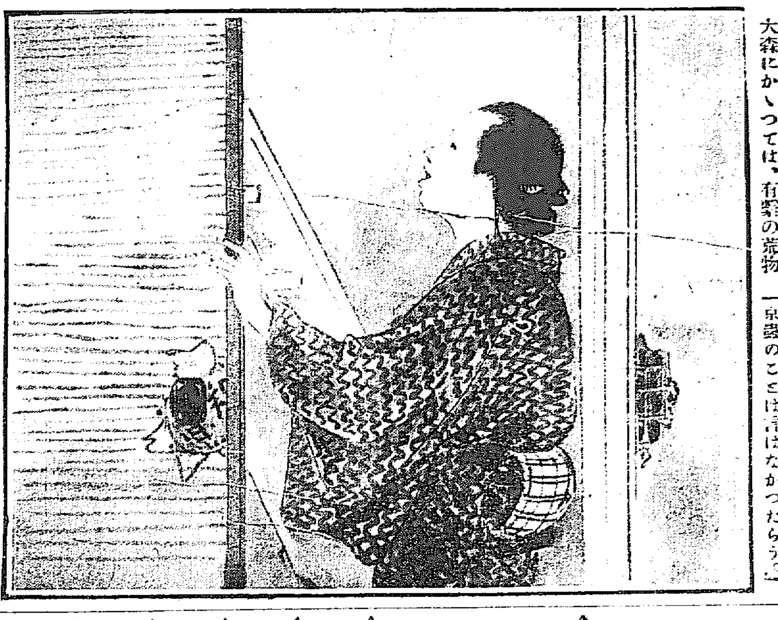
『何んだ？。』

『何んだぢやありません、ちよいと降りて下さいよ。』と女房が宛も要ありさうに言ふ。

主人はチエッと舌打して、

『蒼蠅いなあ。』と大森に悪口言はれたむしやくしや腹を、女房の方へ向け、佛頂面で別に挨拶もせず、突ッと起ち上つて梯子を降りた。

早見は、大森の言ふことが可笑しいので、先刻からクス〳〵笑つてゐたが、主人が下へ降りて往くと、堪らなく爲つて、プッと吹き出して笑つた。大森は肩を揺さぶりつゝ、呵々豪傑笑ひを爲て、



『什麼だ旨からう、彼奴を撃退するには、あの位惡辣に遣らなけりや駄目だよ。君が温順過ぎるから、付け込まれるんだ。これから彼の親父が何んか言つて來たら、構ふことはないから、僕見たやうに酷く遣つ付けて遣り給へ。』

『でも僕には、君見たやうに饒舌れんでね。』

『因業な親父だから、其樣に饒舌らんぢやあね。卽ち蘇秦張儀が六國を說き廻るやうな雄辯にね。』

『幾ら能辯な蘇秦張儀でも、正可南京蟲のことは言はなかつたらう。』

『併し彼の親父奴、頭を南京虫に甜められたから禿げたらうには、ギヤフンと參つたやうだつたね。僕として近來の出來だつた。もつと種々な惡口を言つて遣りたかつたに、奴が婢から呼ばれたのは殘念だ。』

『あの位酷く遣つてくれゝば充分だよ、此上酷く遣ると、君が歸つてから、其返報が僕の方に來るからね。あの位ゐでも屹度仇敵討ちに嚴しく催促爲るだらう。』

『ぢや僕が泊つてゝ、防禦するかア、、、、、』と大森は磊落に笑ふ。

早見は、大森が氣樂さうに笑ふに反して、幾らか沈んだ調子で。

『時に原稿は甚麼鹽梅かね？。』

『未だ噺が纏らんよ。』

『そりや困るね。』

『困つたつて、纏らんから仕方がない。今暫らく此處に籠城して、南京虫と階下の親父と惡戰苦鬪するんだね。』

『其麼ことを言つて實際困るよ』

『書店のいふには、法學士である君の名前を出してくれつてね。』

『失敗者として世を忍んでる僕だもの、名前を出す譯に往かんぢやないか。』

『書店の方ぢや、中味よりも看板で聽かして貰らうてんだから、法學士早見謙吉著としてくれといふんだ。』

『困つたね。』と早見は、右の手を頭へ遣つて撫で廻はす。

雨は幾らか小歇みに爲つて、空には雲が切れたが、却々晴れさうにはなかつた。

新刊紹介

▲那翁大帝（千頭清臣） 著者は那翁研究家なると共に其の崇拜家の最たる者である本書は大分翁の生ひ立ちからエルバ永眠迄の經光を火的生涯を根底として詳書たる [illegible]（三四東京日本橋區本町三丁目博文館）

▲日本一（ふんばん〈そちや號〉） 痛快にして腹の皮をよらせる記事多きが中にも新渡戸博士の講話、高橋醫學博士のユーモアの效能、宮武氏の阪神大戰噴飯觀は眞面目なる研究にて三宅博士の當代の諧樣家、小波の噴パン嶋、日南氏の水米碁の可笑記、臨風の昔の落留、和田垣博士の意外錄を始め其他將棋文學家の傑を網羅し更に帝劇七月興行とたるべき松井須磨子の回顧八十年、澁澤男の青淵自傳就の大陽侯の回顧八十年、澁澤男の青淵自傳は宛から政治小說や小說を讀むが如き感興ある（二十錢東京牛込神樂町南北社）

▲一大帝國（寺内々閣弟三彈劾號） 現時政界に於ける各種の問題に對し大木伯、島田三郎、松平康國、橋本徹馬諸氏の說を載せたり（十六錢東京芝櫻木町二其社）

▲東亜之光（七月號） 露國革命の原因に就て（長瀨鳳輔）此會問題と我國の思想界（本多日生）帝國思想と國家思想（大類博士、及文苑等（廿四錢東京小石川原町東亜協會）

▲兒童研究（七月號） 性慾教育の必要 双兒に就て、三四歲頃の小供の食物、興奮劑と兒童の發育其他育兒の好文字（十六錢東京本郷西片町一〇其發行所）

▲養鷄と園藝（七月號） 號を追ふて內容益整頓充實し來るを見る、養鷄及園藝に關する好師友たるべし（十五錢大阪東區味原町一〇二其社）

▲世界公論（七月號） 政治、經濟、軍事、外交、社會、貿易業の各種問題に就き岡田、關、添田各博士阪谷、澁澤兩男其他名士の說を載む（十七錢東京小石川大塚窪町其社）

▲謠の友（七月號） 三輪、鉢木、阿漕の謠ひ樣、謠の大道三輪の評解及くろとう禁制、謠曲問答、自由論壇等如例（十五錢東京麹町飯田町三の九能樂通信社）

▲蠶業時報（七月號） 一代雜種の比較研究、製糸上より見たる交配種論、桑園の管理、戰爭と蠶業其他（十二錢大阪府豐能郡中村大字岡町七〇其社）

入院隨意 京城南大門通二丁目七番地（漢湖農工銀行前） 胃腸病院 電話一六五九番 院主 佐々木杏造

●曲木椅子の好評 曲木椅子は構造堅牢優美にて組立組外し何人にても容易なるため輸送荷造りに好都合にて耐久力は擺木製の數倍ありは海外へも大輸出ありて益々好評なるにより其資材の產出地なる秋田木工株式會社にては東京銀座通新橋際に販賣所を設け家具類の曲木細工も東京家具界の好評を博し非常なる賣行なりといふ

●レート進物函の好評 中元祭中の贈答品としては家庭及び婦人を本位としたる品を選ぶこと一般の狀態なるが婦人に最も歡迎せらるゝ化粧品就中宮內省御用達相各御用達の御用を蒙うせるレート化粧料各種詰合進物函（三圓、一圓五十錢、一圓、六十錢の四種あり）は內容體裁共に優れて大好評を博し今夏贈答用として殆どレート進物函のみが流行を呈せる有樣なり

『血を見るまで』を讀んで

エツクス生

◆論落の女結城いさ子に對する連日の記事が始終同情的で暖かい筆を以て書かれたのと、知つてか知らずでかかゝりあいの人の名が秘してあつたのは、洵に嬉しく感じたのである。

いさ子は徹頭徹尾運命にもてあそばれたのであつたが、その悲慘なる運命の半は社會が然らしめたのである。娘時代つ親達の爲に又一面教育者の御蔘行迄に禁山浦以外の彼女を書いて見ようと思ふ。

◆いさ子の悪運は、彼が新教育を受けしかも多少クリチヤンかぶれした思想と、家庭に於ける頑固な舊思想との衝突に始まるので、彼が學校で養はれた思想と、社會とは大分の隔があつた、彼にして多少意思が強固であつたなら、此のいきさつを消されたであらうが、彼は餘りに、多情多恨であつた、周圍の壓迫に堪へかねた彼は北鮮の知るべを頼りて故郷を出奔し、その途中思ひ餘つて入水したのである。

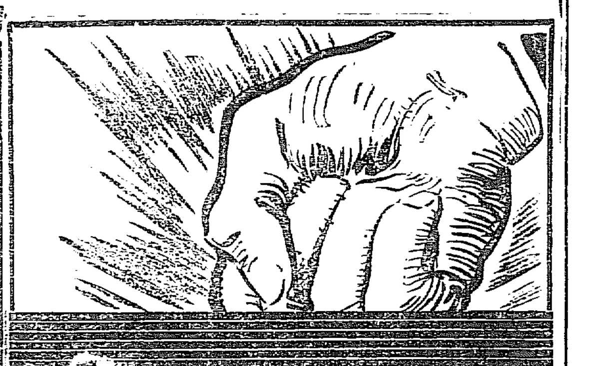
◆社會の人は我が儘者と、冷に罵詈するであらうが、玆に至らしめたまでの彼の心情に對し、同情を與へて欲しい、入水はしたが不幸にして彼の肉體のみは、助けられた、此の事情を聞いた某商官は、彼を引取り精神的に復活を試みようとした、しかし嗟しかし時と場所が惡かつた、日露戰爭後間もなく戰爭氣分の未だうせぬ時で、かてゝ暴徒の出沒する場所だもの、總て人達が、酒と女で憂に落莫たる鬱を晴し、管絃の音、嬌々の聲は絶ゆる間はなかつた、精神的に死したいさ子は、とう〳〵周圍に化せられ『花枝』と號するに至つた、某官がなぜ徹底的に、世話しなかつたか、なぜ酌婦風情に至らしめたかと、今でも遺憾に思つて居る。

◆やがて彼にも春は來た、短いけれども春は來た『花枝』の時代は過ぎていさ子は始めて暖かき家庭の人となつた、妻としてのいさ子は非難すべき點はなかつた、琴瑟相和した、一年間の生活は、彼の爲には一生を通じての樂天地であつた、浮世はまゝならぬとは此の事か、樂しき夢も束の間、此の樂園にも嵐が吹いた、夫君は俄に本部詰を命ぜられ、職務上奇歴ある、いさ子を伴ふ事は許さなかつた、義理か浮世か、生木は割かるべき運命をもたらした、相擁し泣いて〳〵泣いた揚句、夫君は京城へ砂子は南鮮へ轉じた舊樓主を便りていさ子がそれからます〳〵社會をのろい、すてばちになつたのも、强ち無理はあるまい、今回の出來事を聞いて驚いたが、いさ子の爲には却て幸せであつたかも知れぬ。

市況

仁川期米

▲後場保合



言ふを止めよ!!

腦神經病に良藥無しと

健腦丸 あり

斷じて言ふ!! 其効驗適確と!

主効 ■腦充血 ■卒中 ■耳鳴 ■頭痛 ■腦膜炎 ■中風 ■眩暈 ■健忘 ■神經痛 ■逆上 ■不眠 ■便秘

先づ一週分を試よ

腦神經衰弱症の人 大酒家。喫烟家。及び常に頭腦を過勞する人々よ。本劑を常用せば怖る可き中風卒中を未發に防ぎ便通を快し記憶力を增進す

價 半週分四十錢 一週分七十錢 二週分一圓三十錢 三週分一圓八十錢 五週分貳圓八十錢 十週分金五圓

本舗 大阪 東京 丹平商會藥房 全國藥店に取次す

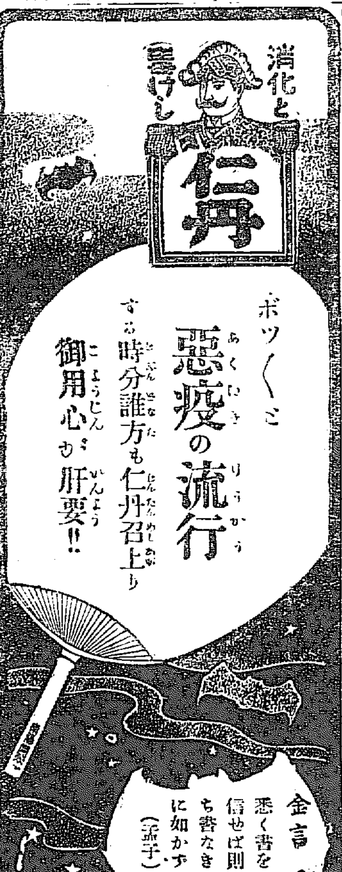
淋病新藥 ゴノチール

◉極メテ合理的ニ創製セラレ彼ノ危險ナル洗滌等ノ副療法ヲ要セズ單ニ本劑ノ內服ニ依リ淋病、膀胱、尿道炎、等ノ泌尿器疾患ニ對シ容易ク治療ノ目的ヲ遂シ得ル最モ卓越セル新劑ナリ

◉各地有名藥店ニアリ 說明書ハ現品ニ添附ス

發賣元 大阪市道修町 藥品問屋 西村藥林社 電話本局二〇九一番 振替大阪七五九。

一容器 三十錠入 六十錠入 百錠入 病院用 五百錠入 千錠入



消化と毒けし 仁丹

ボツ〳〵と惡疫の流行する時分誰方も仁丹召上り御用心が肝要!!

金言 悉く書を信ずれば則ち書なきに如かず（孟子）

是れ!是れ最高能率を有し眞に理想的なパイン萬年筆を直ぐ御買ひなさい!!

"PINE"

◎大日本政府登錄 米國製正十四金『イリジユーム』付ペン（責任保險付）

◎附言パイン萬年ペンは自然の破損又不具合の節は滿一ヶ年間交換又無料修繕

完全なる設備と老練なる技術者に依各種萬年筆即時修繕

堅牢無比

東京パイン萬年筆出張所 京城旭町二の六

定價 標準式 六圓八十錢 押出式 五圓三十錢 インキ止 四圓九十錢 最新婦人用 三圓八十錢 インキ止實用 三圓三十錢

發賣元 京城大平通一丁目 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

陳列所 京城本町二丁目 ウツボヤ書店

天下一品 猪印のみとり粉 金牌受領

南京虫、蚤、油虫等退治全滅する事請合

定價 吹出散布器入 金二十錢 立罐入 金十錢、金五錢

到ル處ニ販賣店アリ

大阪商船仁川出帆

○外航路所属航路（遠洋航路を除く）船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候

- ◉神戸、大阪行 東丸 七月十四日 後二時出帆
- 汕頭丸 七月十日
- △南都丸 七月十七日
- ×◉神戸、大阪行 汕頭丸 月 日後五時出帆
- ◉木浦、釜山、巖原、鄕の浦、長崎行 東丸 七月十日 後二時出帆
- ×安東丸 七月五日
- ×安東丸 七月卅一日
- ○橫濱行
- ×濟州丸 七月十日 後二時出帆
- △福州丸 七月十五日
- ◉南浦行
- ◉南都丸 七月十四日 後二時出帆
- △基東丸 七月十一日
- ◉鎭南浦、大連行 東丸 七月十日 後二時出帆
- ×安東丸 七月廿六日
- ×安東丸
- ◉大連直航
- ×遼州丸 月 日 正午出帆
- △福州丸 月 日
- ◉西湖津新浦城津清津行（元山出帆） 宮島丸 七月十日 後十二時出帆
- ◉淸津行（元山出帆） 宮島丸 七月廿七日 後十二時出帆
- ◉上海、基隆、打狗行（大連出帆） 湖北丸 七月廿三日 前五時出帆
- 基隆丸 七月七日 後四時出帆

御注意 ◉乾船は鐵道省及び南滿洲鐵道會社と聯絡の連絡切符發賣仕候◉御乘船客は本船出帆約一時間前無賃送迎可仕候◉×印は一等客御斷り△印は船客御斷り

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話一二番、二〇番、五五八番

切符發賣所 內國通運會社京城支店 電話七〇八番

切符發賣所 仁川濱通 開 數 旅 館 電話二六一番

汽船釜山出帆廣告

- 門司、神戸、大阪行 ○和歌浦丸 七月十二日後五時出帆
- ○立神丸 七月廿三日後五時出帆
- 元山、清津、浦鹽行 ○和歌浦丸 七月廿二日後十時出帆
- ○立神丸 七月十一日後四時出帆
- 元山、西湖、新浦、城津、清津行 ○第三琴平丸 月 日後六時出帆
- 門司、宇品、神戸、大阪行 ○第三琴平丸 月 日後六時出帆
- 佐須奈、巖原、壹岐、博多行 ○天與丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆

釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行 第廿共同丸 七月八日午後入港 七月十日前十時出帆

當社船は當地に於て青島行定期船へ接續旅客貨物の取扱仕候 大連にて青島行定期船に接續荷客共通し送可仕候

阿波共同汽船株式會社 本町四丁目（電話一七三番）

仁川代理店 野口商會

元山代理店 寄日町（電話二四四七番） 田口回漕部

京城取次店 南大門（電話二六八・二〇一七） 河村運送店

日本郵船仁川出帆

- ○大連行、太沽（天津）牛莊行 相模丸 七月廿六日正午出帆
- 高砂丸 七月 日正午出帆
- 三河丸 七月十五日正午出帆

仁川海岸町一丁目 電話 回漕部

尼崎汽船仁川出帆

- 群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 ○君か代丸 七月 日後四時出帆
- ○大有丸 七月 日後四時出帆
- ○吉丸 七月 日後四時出帆
- ○寿代丸 七月十一日後四時出帆

仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕店

朝鮮郵船出帆

- ○關門より釜山各地經由雄基行 但し×印あるは江原道寄港せず
- ×京畿丸 七月廿四日
- ×忠淸丸 七月十四日
- 成鏡丸 七月十九日
- 柳川丸 七月九日
- 釜山發
- ○元山より各地經由雄基行
- 鏡城丸 七月十一日
- 慶城丸 七月十五日
- 三浦丸 七月九日
- 元山發
- ○浦潮行（元山より城津淸津經由） 平壤丸 七月十四日 元山發
- ○元山長崎間
- 成鏡丸 七月九日
- 慶城丸 七月十九日
- 柳川丸 七月二十日
- 元山發
- ○釜山元山間 慶寶丸 月 日 釜山發
- ○釜山鬱陵島行浦項及各地經由 登慶丸 七月九日 釜山發
- ○浦項行（長生浦方魚津甘浦九龍浦經由） 江陵丸
- 襄陽丸 毎日 釜山發
- ○濟州島行長承浦麗水巨文島經由 昌平丸 七月十三日 釜山發
- ○麗水行（各地經由） 海州丸 巨濟丸 隔日 釜山發
- 統營丸
- ×○木浦麗水間×印のみ麗水にて釜山行接續 順天丸 南陽丸 三日目毎に 木浦發
- ○木浦より濟州島行各島經由 西廻、公州丸 七月十日 東廻、慶興丸 七月十七日 木浦發
- ○多島海各島行 金海丸 七月十二日 木浦發
- ○木浦行（群山其他各地經由） 晋州丸 七月九日 麗水丸 七月十三日 仁川發
- ○鎭南浦行（海州其他各地經由） 宗信丸 七月十三日 仁川發
- ○海州行（江華島喬桐島經由） 全州丸 錦江丸 毎日 但し三十一日は休航 仁川發

本社 電話長一九五二番二三三番

鐵道院局及社外關さ荷客運送の便あり常に支店出張所代理店荷客取扱店に御照會ありたし

京城南大門驛前 京城荷客取扱店 松原運送店 電話一七〇番